

平成21年度

桑名保健福祉事務所年報

(平成22年版)



(三重県桑名庁舎)



(三重県四日市庁舎)

三重県桑名保健福祉事務所

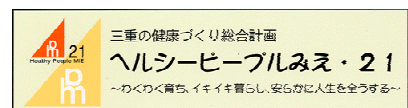
〒511-8567 桑名市中央町5丁目71番地

三重県桑名庁舎内

TEL 0594-24-3621(代表)

FAX 0594-24-3692

<http://www.pref.mie.jp/WHOKEN/HP/>



目 次

1 管内概況

(1) 管内略図 1
(2) 桑名保健福祉事務所（桑名保健所）の位置図 1
(3) 桑名保健福祉事務所（北勢福祉事務所）の位置図 3
(4) 桑名保健福祉事務所（平成22年度体制）の概要 4
(5) 管内の状況 5
(6) 人口動態統計 8

2 三重県総合計画

県民しあわせプラン第二次戦略計画における事業実績17
--------------------------	---------

112 男女共同参画社会の実現

11204 心身の健康支援と性別に基づく暴力等への取組	
1 女性相談事業18

311 防災対策の推進

31106 災害時医療体制の整備・被災者対策の推進	
1 災害拠点病院21
2 地域災害拠点薬局21

324 食の安全とくらしの衛生の確保

32401 食の安全・安心の確保	
1 食品衛生22
2 食品表示等指導相談事業25
32402 生活衛生営業の衛生水準の確保	
1 環境衛生26
32403 医薬品等の安全確保	
1 薬事27
2 献血推進28

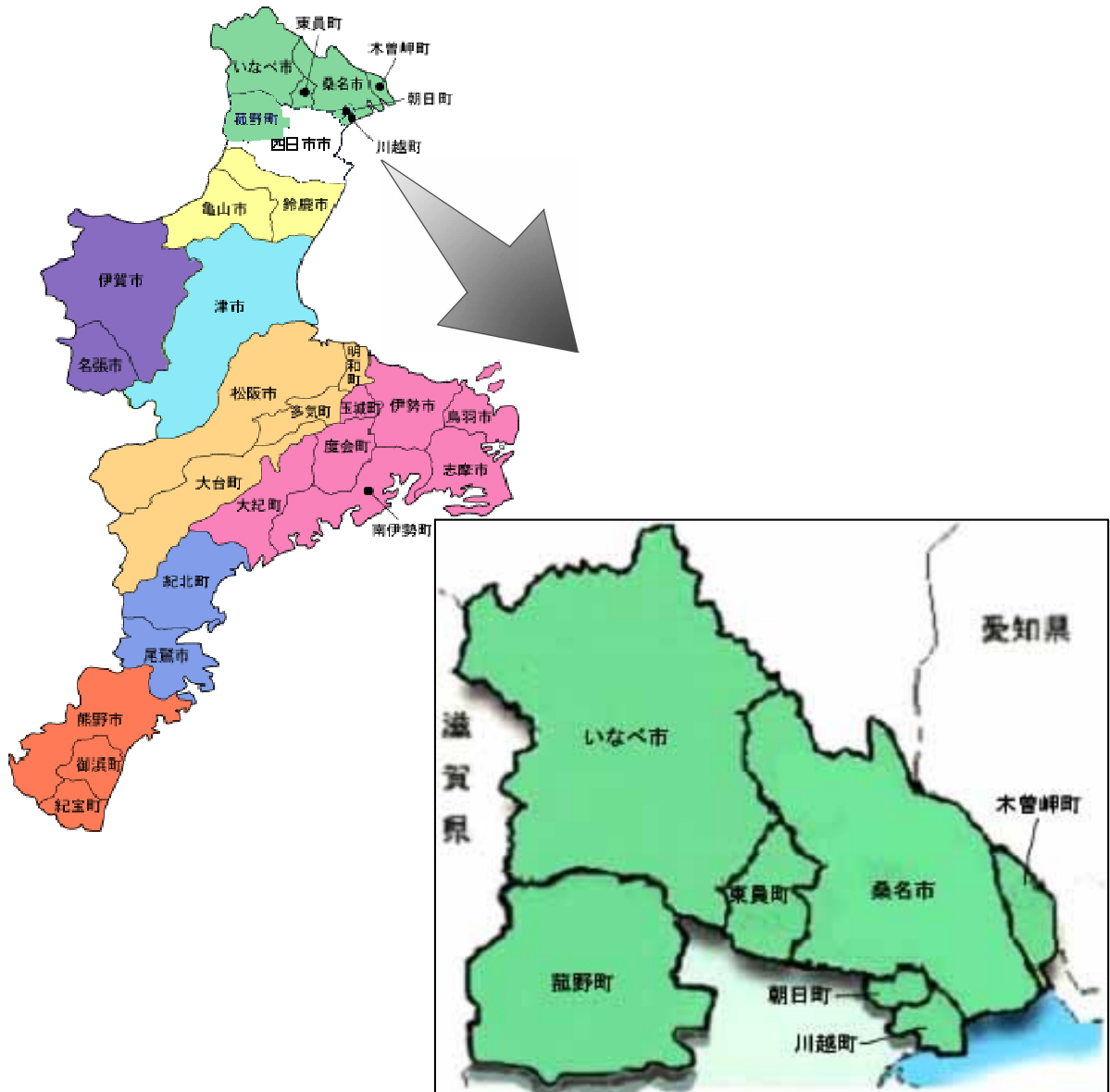
32404	薬物乱用防止対策の充実	
1	薬物乱用防止対策29
32405	人と動物との共生環境づくりの推進	
1	狂犬病予防30
2	動物愛護 ほか31
325	感染症対策の推進	
32501	感染症危機管理体制の確保	
1	感染症の予防事業32
2	新型インフルエンザ対策33
3	エイズ対策事業36
4	予防接種36
32502	感染症予防および治療体制の充実	
1	結核予防事業37
331	健康づくりの推進	
33101	健康づくり活動の推進	
1	「ヘルシーピープルそういん・21」地域・職域連携推進事業41
2	たばこ対策43
33102	食環境の整備	
1	健康食育推進事業44
33103	こころの健康づくりの推進	
1	自殺予防対策研修会47
2	啓発活動事業47
33105	健診・相談等サービス体制の整備	
1	健康増進事業48
332	子育て環境の整備	
33201	保育・放課後児童対策等の充実	
1	児童福祉49

33203	母子保健対策の推進	
1	母子保健対策事業51
2	母子医療対策事業53
3	母体保護事業55
33205	児童と一人親家庭の自立の支援	
1	母子福祉事業56
333	地域とともに進める福祉社会づくり	
33301	地域福祉活動の推進	
1	民生委員・児童委員等配置状況57
2	社会福祉施設等58
341	医療体制の整備	
34101	患者本位の医療の推進	
1	医務60
34103	救急・へき地医療体制の整備	
1	地域救急医療対策事業62
2	救急告示医療機関63
34105	骨髄バンク、臓器移植等の推進	
1	骨髄バンク64
2	臓器移植啓発事業64
34106	難病患者等の支援	
1	原子爆弾被爆者対策事業65
2	ハンセン病患者等支援事業65
3	難病在宅ケア事業66
4	特定疾患治療研究事業68
5	肝炎インターフェロン治療促進事業70
34107	医療分野の人材確保	
1	保健師活動状況71
2	看護学生等保健所実習指導71
3	新医師臨床研修受入状況71

342 生活保障の確保	
34201 公的扶助の適正な運用	
1 生活保護72
343 高齢者保健福祉の推進	
34301 介護保険制度の円滑な運営	
1 介護保険制度73
34302 介護基盤の整備促進とサービスの質の向上	
1 高齢者福祉74
344 障がい者保健福祉の推進	
34401 障がい者自立支援法制度の円滑な推進	
1 障がい者福祉76
2 障がい福祉サービス事業所77
34402 障がい者福祉サービス提供基盤の整備促進	
1 障がい者小規模作業所事業費補助金79
34404 精神障がい者の適正な保健医療の確保	
1 精神保健医療対策事業80
34405 障がい者の社会参加環境づくり	
1 精神障がい者地域生活支援事業81
2 精神障がい者社会復帰推進事業82
桑名保健福祉事務所(保健所)の沿革83

1 管内概況

(1) 管内略図



(2) 桑名保健福祉事務所 (桑名保健所)

ア 位置図



イ 詳細位置図



- ウ 交通 **JR・近鉄:** 「桑名駅」から徒歩15分
自動車: 東名阪自動車道「桑名IC」桑名市方面へ(国道1号を右折)約15分
 国道1号線 (名古屋方面から)市役所前交差点50m先左折
 (四日市方面から)浅川交差点右折すぐ左折
 国道23号線 地蔵交差点から 約5分

エ 名称、住所

三重県桑名保健福祉事務所 (桑名庁舎内) (併置機関: 桑名保健所)
 〒 511 - 8567 三重県桑名市中央町 5 - 7 1
 代表電話 0594-24-3621 Fax 0594-24-3692

オ 健康診断・相談等日程

1) 健康相談

平成21年4月1日現在

	項目	受付時間	備考
火曜日	骨髄バンク登録受付	9 : 30 ~ 11 : 00	毎週火曜 (予約制)
	特定感染症 (エイズ含む) 相談・検査	13 : 00 ~ 14 : 30	毎週火曜
水曜日	こころの健康相談	奇数月 9 : 30 ~ 偶数月 13 : 30 ~	第4水曜 (予約制)
木曜日	感染症健康診断 (結核)	14 : 30 ~ 15 : 00	第1・3木曜 (予約制)

(3) 桑名保健福祉事務所（北勢福祉事務所）

ア 位置図



イ 詳細位置図



- ウ 交通 **近鉄:** 名古屋線「新正駅」徒歩5分
自動車: 国道1号線 南警察署前交差点 すぐ

エ 名称、住所

三重県桑名保健福祉事務所（四日市庁舎内） （併置機関：北勢福祉事務所）
 〒 510 - 8511 三重県四日市市新正4丁目21番5号
 代表電話 059-352-0586 Fax 059-352-0598

(4) 桑名保健福祉事務所の概要(平成22年度体制)

桑名保健福祉事務所組織及び所掌事務(メールアドレス: whoken@pref.mie.jp)

<p>所長 長坂 裕二 TEL 0594-24-3621</p> <p>副所長(福祉相談室長兼務) 市野 文夫 TEL 059-352-0580</p> <p>室長 三谷 賢二 TEL 0594-24-3621</p>	<p>福祉相談室</p> <p>〈福祉課 8名〉 TEL 059-352-0586 ・高齢者福祉 ・介護保険 ・身体・知的障がい者福祉 ・障がい者自立支援制度 ・保育所等児童福祉 ・福祉行政報告例 ・民生委員組織活動支援 ・特別障害者手当等 ・ユニバーサルデザイン ・女性相談、ひとり親家庭相談</p> <p>〈生活保護課 5名〉 TEL 059-352-0235 生活保護</p> <p>保健衛生室</p> <p>〈総務企画課 6名〉 TEL 0594-24-3621 ・医療、福祉従事者の免許申請 ・災害救助 ・衛生統計 ・保健医療計画 ・医療・保健・福祉関係の研修 ・原子爆弾被害者対策</p> <p>〈健康増進課 8名〉 TEL 0594-24-3625 ・感染症(発生動向調査)対策 ・結核医療・予防 ・エイズ相談・検査 ・病院・診療所開設許可(届け) ・ヘルシーピープルみえ・21 ・保健栄養対策 ・歯科保健 ・こころの健康づくり ・医療監視業務</p> <p>〈地域保健課 9名〉 TEL 0594-24-3620 ・難病、特定疾患対策 ・小児慢性特定疾患 ・養育医療給付 ・自立支援医療(育成)給付 ・母子保健 ・精神保健福祉 ・特定不妊治療費助成事業</p> <p>〈衛生指導課 6名〉 TEL 0594-24-3623 ・食品衛生 ・動物愛護推進 ・医薬品、毒劇物 ・墓地及び火葬場 ・旅館、公衆浴場、興行場 ・献血、骨髄バンク登録推進 ・理容、美容、クリーニング(免許申請・調理師免許含む)</p> <p>〈食の安全・安心監視課 4名〉 TEL 0594-24-3619 ・大規模食品販売業・大量調理施設・製造業監視指導 ・食品表示 ・三重県HACCP</p>	<p>課長 小林政文</p> <p>課長 神谷 敏夫</p> <p>課長 野呂 新二</p> <p>課長 石河 真人</p> <p>課長 中川 久美子</p> <p>課長 佐藤 和彦</p> <p>課長 勝田 よう子</p>																								
<p>職種別職員数</p> <table border="0"> <tr><td>一般事務等</td><td>26</td><td>名</td></tr> <tr><td>医師</td><td>1</td><td>名</td></tr> <tr><td>獣医師</td><td>4</td><td>名</td></tr> <tr><td>薬剤師</td><td>5</td><td>名</td></tr> <tr><td>保健師</td><td>9</td><td>名</td></tr> <tr><td>診療放射線技師</td><td>2</td><td>名</td></tr> <tr><td>管理栄養士</td><td>2</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>49</td><td>名</td></tr> </table>	一般事務等	26	名	医師	1	名	獣医師	4	名	薬剤師	5	名	保健師	9	名	診療放射線技師	2	名	管理栄養士	2	名	合計	49	名		
一般事務等	26	名																								
医師	1	名																								
獣医師	4	名																								
薬剤師	5	名																								
保健師	9	名																								
診療放射線技師	2	名																								
管理栄養士	2	名																								
合計	49	名																								

(5) 管内の状況

ア 市町の面積・世帯数及び人口の状況

資料：三重県政策部統計室

種別 市町	平成17年国勢調査		平成21年10月1日現在				世帯数の伸び率	人口の伸び率
	世帯数	総人口	面積 (km ²)	世帯数	総人口	人口密度 (人/km ²)		
計	94,167	277,419	516.16	101,683	283,357	549.0	108.0%	102.1%
桑名市	48,171	138,963	136.61	51,533	141,110	1,032.9	107.0%	101.5%
いなべ市	15,570	46,446	219.58	16,737	46,716	212.8	107.5%	100.6%
木曾岬町	2,150	6,965	15.72	2,233	6,742	428.9	103.9%	96.8%
東員町	8,122	25,897	22.66	8,525	25,505	1,125.6	105.0%	98.5%
菰野町	12,798	38,986	106.89	13,920	40,097	375.1	108.8%	102.8%
朝日町	2,534	7,114	5.99	3,375	9,329	1,557.4	133.2%	131.1%
川越町	4,822	13,048	8.71	5,360	13,858	1,591.0	111.2%	106.2%
三重県	675,459	1,866,963	5,777.19	714,191	1,862,575	322.4	105.7%	99.8%

イ 管内市町の状況

平成15年12月1日

北勢町、員弁町、大安町、藤原町が合併し、いなべ市となる。

平成16年12月6日

桑名市、多度町、長島町が合併し、桑名市となる。

平成20年4月1日

菰野町、朝日町、川越町が管内となる。



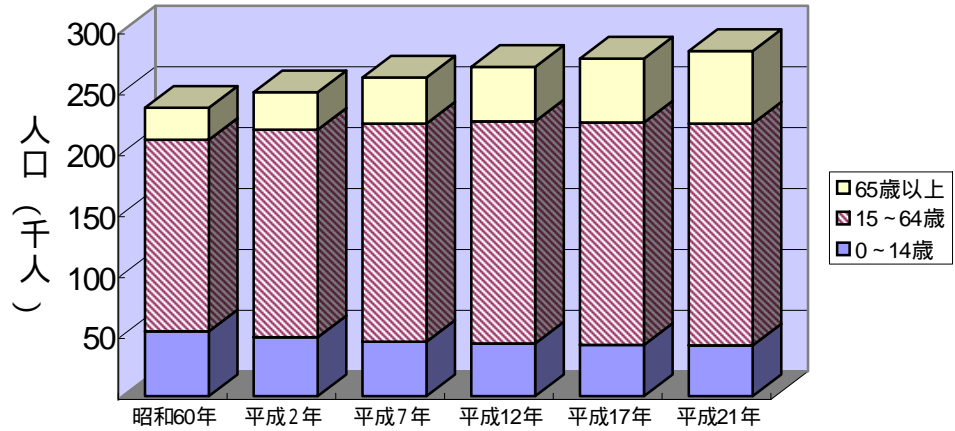
(ウ) 管内人口の推移

資料：三重県政策部統計室 (各年10月1日現在人口)

	平成2年 1990年	平成7年 1995年	平成12年 2000年	平成17年 2005年	平成21年 2009年
計	249,533	261,687	270,433	277,419	283,357
桑名市	124,042	129,595	134,856	138,963	141,110
いなべ市	43,882	45,746	45,630	46,446	46,716
木曽岬町	7,167	7,231	7,172	6,965	6,742
東員町	25,447	26,235	26,305	25,897	25,505
菰野町	32,263	35,117	37,972	38,986	40,097
朝日町	6,744	6,900	6,716	7,114	9,329
川越町	9,988	10,863	11,782	13,048	13,858

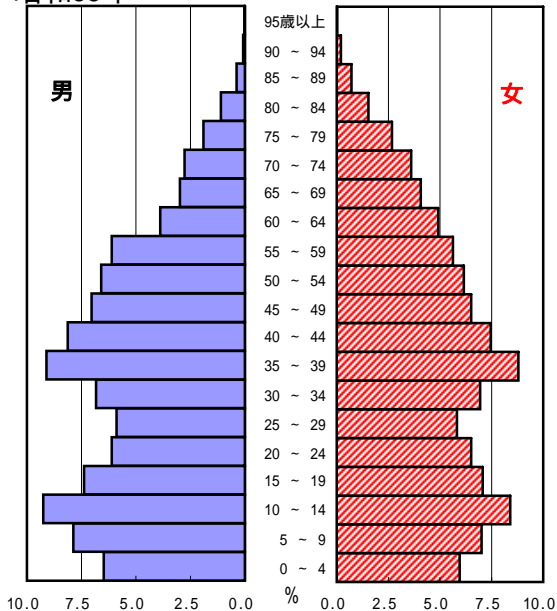
桑名管内(菰野、朝日、川越含む)の3区分別人口割合の推移

桑名市及びいなべ市の平成12年以前については、合併があったものとして計算していません。

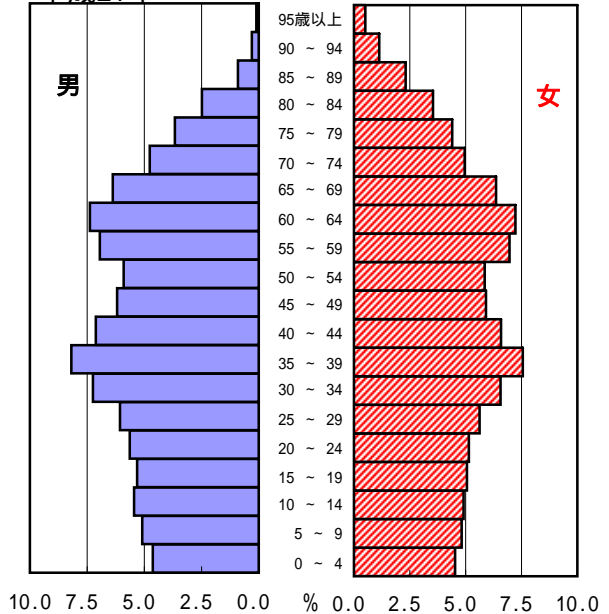


【管内の人口ピラミッド】

昭和55年



平成21年



(工) 管内市町の人口構成

(平成21年10月1日現在)

(平成21年10月1日現在)

市町村名	総人口	年齢区分別人口 (年齢不詳を除く)			少年人口 (18歳未満人口)				
		年少人口 (0~14歳)	生産年齢人口 (15~64歳)	老年人口 (65歳以上)	0~5歳	6~11歳	12~14歳	15~17歳	計
管内	283,357	41,695	182,035	59,371	15,662	17,274	8,759	8,781	50,476
桑名市	141,110	20,730	91,276	28,987	7,679	8,647	4,404	4,412	25,142
いなべ市	46,716	6,653	29,624	10,431	2,380	2,777	1,496	1,537	8,190
木曽岬町	6,742	806	4,480	1,456	279	343	184	224	1,030
東員町	25,505	3,163	17,171	5,149	1,128	1,379	656	725	3,888
菰野町	40,097	6,064	24,836	9,114	2,160	2,545	1,359	1,286	7,350
朝日町	9,329	1,843	5,722	1,756	983	648	212	217	2,060
川越町	13,858	2,436	8,926	2,478	1,053	935	448	380	2,816
三重県	1,862,575	256,995	1,160,947	442,313	96,666	106,100	54,229	55,525	312,520

資料：三重県政策部統計室

(平成21年10月1日現在)

(平成21年10月1日現在)

	年齢区分別割合		
	年少人口 (0~14歳)	生産年齢人口 (15~64歳)	老年人口 (65歳以上)
管内	14.7	64.2	21.0
桑名市	14.7	64.7	20.5
いなべ市	14.2	63.4	22.3
木曽岬町	12.0	66.4	21.6
東員町	12.4	67.3	20.2
菰野町	15.1	61.9	22.7
朝日町	19.8	61.3	18.8
川越町	17.6	64.4	17.9
三重県	13.8	62.3	23.7

年齢構成指数			
年少人口 指数	老年人口 指数	従属人口 指数	老年化 指数
22.9	32.6	55.5	142.4
22.7	31.8	54.5	139.8
22.5	35.2	57.7	156.8
18.0	32.5	50.5	180.6
18.4	30.0	48.4	162.8
24.4	36.7	61.1	150.3
32.2	30.7	62.9	95.3
27.3	27.8	55.1	101.7
22.1	38.1	60.2	172.1

$$\text{年少人口指数} = \frac{\text{年少人口 (0~14歳)}}{\text{生産年齢人口 (15~64歳)}} \times 100$$

$$\text{老年人口指数} = \frac{\text{老年人口 (65歳以上)}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

$$\text{従属人口指数} = \frac{\text{年少人口} + \text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

$$\text{老年化指数} = \frac{\text{老年人口}}{\text{年少人口}} \times 100$$

(6) 人口動態統計

ア 人口動態総覧

平成20年の人口動態（確定数）の概況は表1のとおりです。

人口動態確定数は、平成20年から桑名管内には菰野町、朝日町、川越町が含まれたデータを掲載しました。（以下3町を含んだデータで比較）

（ア）出生

管内の出生数は2,468人で前年より15人増加しました。出生率は8.7で三重県の8.4と比べると0.3ポイント高く、全国と同率となっています。

（イ）死亡

管内の死亡数は2,402人で前年より129人増加し、死亡率は8.5で、三重県の9.62、全国の9.1より下回っています。

（ウ）乳児死亡

乳児の生存は母体の健康状態や養育条件等の影響を強く受けることから、地域の衛生状態、生活水準を反映する指標として重視されています。管内の乳児死亡数は10人で、前年より1人増加しており、新生児死亡数は7人で前年より4人増加しています。

（エ）死産

管内の死産数は56人で、前年より13人増加しました。自然死産率は9.1であり人工死産率は13.1です。

（オ）周産期死亡

母体の健康状態に強く影響される指標です。周産期死亡数は19人で前年に比べ13人増加し、周産期死亡率は7.7です。

（カ）婚姻と離婚

婚姻件数は1,538組で前年より77組増加しました。婚姻率は5.4で三重県の値と比較すると0.1ポイント高くなっています。

離婚件数は465件で前年より44件増加しました。離婚率は1.64で三重県の値と比較すると0.18ポイント低くなっています。

（キ）自然増加

管内の自然増加率は0.2ですが、三重県は-1.2ポイントで平成17年から減少傾向です。

イ 死亡の動向

主な死因別の死亡状況を表2、うち悪性新生物部位別死亡状況を表3に示しました。

分母に用いた人口は、三重県データバンクシステムにより算出した平成20年10月1日現在推計人口（外国籍人口含む）によります。

第1位悪性新生物744人、第2位心疾患359人、第3位肺炎267人、第4位脳血管疾患249人で平成19年から肺炎が第3位となっています。

ウ 各種グラフ

合計特殊出生率、乳児死亡率、年齢調整死亡率等の推移及び平成20年の年齢調整死亡率上位5疾患をグラフ1に示しました。

表1 人口動態総覧（実数、率） 市町村別

平成20年確定数

市町 (県・ 全国)	人口 (10月1 日)	出生			低体重児 (再掲)			死亡			乳児死亡 (再掲)			新生 児死 亡 (再 掲)	自然 増加 数	死産			周産期死亡			婚姻	離婚	合計 特殊 出生 率
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女			総数	自然	人工	総数	妊娠満 22週以 後の死 産	早期新 生児死 亡			
全国	125,947,000	1,091,156	559,513	531,643	104,479	47,452	57,027	1,142,407	608,711	533,696	2,798	1,488	1,310	1,331	51,251	28,177	12,625	15,552	4,720	3,751	969	726,106	251,136	
三重県	1,869,669	15,633	7,882	7,751	1,357	615	742	17,904	9,444	8,460	41	23	18	22	2,271	349	160	189	82	66	16	9,937	3,402	
管内	282,727	2,468	1,250	1,218	203	98	105	2,402	1,282	1,120	10	7	3	7	66	56	23	33	19	12	7	1,538	465	
桑名市	141,279	1,229	620	609	99	50	49	1,170	622	548	4	3	1	2	59	31	12	19	6	4	2	765	239	
いなべ市	46,893	348	180	168	29	14	15	458	233	225	3	3	0	2	110	5	3	2	4	2	2	236	67	
木曾岬町	6,698	47	27	20	4	0	4	61	34	27				14								18	6	
東員町	25,604	188	96	92	18	8	10	169	96	73	1	0	1	1	19	7	3	4	3	2	1	99	31	
菰野町	39,821	343	170	173	28	14	14	371	197	174	2	1	1	2	28	9	4	5	5	3	2	229	77	
朝日町	8,783	143	66	77	14	6	8	55	29	26				88	2	0	2					50	13	
川越町	13,649	170	91	79	11	6	5	118	71	47				52	2	1	1	1	1	0		141	32	
率	全国	8.7	9.1	8.2	95.8	84.8	107.3	9.1	9.9	8.3	2.6	2.7	2.5	1.2	0.4	25.2	11.3	13.9	4.3	3.4	0.9	5.8	1.99	1.37
三重県	8.4	8.7	8.1	86.8	78.0	95.7	9.6	10.4	8.8	2.6	2.9	2.3	1.4	1.2	21.8	10.0	11.8	5.2	4.2	1.0	5.3	1.82	1.38	
管内	8.7	8.9	8.5	82.3	78.4	86.2	8.5	9.2	7.8	4.1	5.6	2.5	2.8	0.2	22.2	9.1	13.1	7.7	4.8	2.8	5.4	1.64	1.37	
桑名市	8.7	8.9	8.5	80.6	80.6	80.5	8.3	9.0	7.6	3.3	4.8	1.6	1.6	0.4	24.6	9.5	15.1	4.9	3.2	1.6	5.4	1.69	1.32	
いなべ市	7.4	7.5	7.3	83.3	77.8	89.3	9.8	9.8	9.8	8.6	16.7	0.0	5.7	2.3	14.2	8.5	5.7	11.4	5.7	5.7	5.0	1.43	1.28	
木曾岬町	7.0	8.0	6.0	85.1	0.0	200.0	9.1	10.1	8.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	0.90	1.36	
東員町	7.3	7.7	7.0	95.7	83.3	108.7	6.6	7.7	5.6	5.3	0.0	10.9	5.3	0.7	35.9	15.4	20.5	15.8	10.5	5.3	3.9	1.21	1.18	
菰野町	8.6	8.7	8.5	81.6	82.4	80.9	9.3	10.1	8.6	5.8	5.9	5.8	5.8	0.7	25.6	11.4	14.2	14.5	8.7	5.8	5.8	1.93	1.47	
朝日町	16.3	15.1	17.4	97.9	90.9	103.9	6.3	6.6	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	13.8	0.0	13.8	0.0	0.0	0.0	5.7	1.48	2.06	
川越町	12.5	13.3	11.6	64.7	65.9	63.3	8.6	10.3	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	11.6	5.8	5.8	5.8	5.8	0.0	10.3	2.34	1.73	
率の算出方法	人口千対	男子人口千対	女子人口千対	出生千対	男子出生千対	女子出生千対	人口千対	男子人口千対	女子人口千対	出生千対	男子出生千対	女子出生千対	出生千対	人口千対	出産(出生+死産)千対			出産(出生+妊娠満22週以後の死産)千対			人口千対			

は減を示す。低体重児は出生体重2,500g未満のもの。乳児死亡は生後1年未満の死亡。

新生児死亡は生後4週未満の死亡。早期新生児死亡は生後1週未満の死亡。

死産は妊娠12週以後の死産の出産。後期死産は妊娠22週以後の死産。自然増加は出生数-死亡数。

全国以外の分母に用いた人口は、三重県データバンクシステムにより計算しているため、厚生労働省の公表値と若干異なっています。

表 2 死亡の動向 (1)
 市別主要死因別死亡数・死亡率(人口10万人対)、年齢調整死亡率(人口10万人対) (平成20年確定数)

		総数			結核			悪性新生物			糖尿病			高血圧性疾患		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
三重県	死亡数	17,904	9,444	8,460	26	17	9	4,925	3,035	1,890	238	126	112	115	51	64
	率	[957.6]	[1036.6]	[882.5]	[1.4]	[1.9]	[.9]	[263.4]	[333.1]	[197.2]	[12.7]	[13.8]	[11.7]	[6.2]	[5.6]	[6.7]
	年齢調整死亡率	396.8	555.9	273.7	0.51	0.86	0.32	124.9	180.6	81.4	5.45	7.67	3.55	1.92	2.66	1.36
管内	死亡数	2,402	1,282	1,120	3	2	1	744	478	266	23	14	9	12	4	8
	率	[849.6]	[916.5]	[784.1]	[1.1]	[1.4]	[.7]	[263.2]	[341.7]	[186.2]	[8.1]	[10.]	[6.3]	[4.2]	[2.9]	[5.6]
	年齢調整死亡率	386.3	544.3	260.3	0.44	0.74	0.40	135.3	203.7	80.2	4.17	6.54	1.84	1.38	1.48	1.40
桑名市	死亡数	1,170	622	548	2	1	1	347	216	131	15	10	5	6	3	3
	率	[828.1]	[896.6]	[762.1]	[1.4]	[1.4]	[1.4]	[245.6]	[311.4]	[182.2]	[10.6]	[14.4]	[7.]	[4.2]	[4.3]	[4.2]
	年齢調整死亡率	399.3	558.1	274.5	0.62	0.84	0.77	132.1	191.5	86.5	5.56	9.27	1.99	1.91	2.38	1.72
いなべ市	死亡数	458	233	225	0	0	0	131	88	43	4	1	3	3	0	3
	率	[976.7]	[975.4]	[978.]	[.]	[.]	[.]	[279.4]	[368.4]	[186.9]	[8.5]	[4.2]	[13.]	[6.4]	[.]	[13.]
	年齢調整死亡率	398.3	530.7	277.5	0.00	0.00	0.00	137.6	213.2	72.0	3.14	2.12	3.64	1.60	0.00	2.42
木曾岬町	死亡数	61	34	27	0	0	0	24	12	12	0	0	0	0	0	0
	率	[910.7]	[1008.6]	[811.5]	[.]	[.]	[.]	[358.3]	[356.]	[360.7]	[.]	[.]	[.]	[.]	[.]	[.]
	年齢調整死亡率	456.4	622.6	330.1	0.00	0.00	0.00	168.8	189.7	131.8	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
東員町	死亡数	169	96	73	0	0	0	65	46	19	1	1	0	1	1	0
	率	[660.1]	[766.7]	[558.]	[.]	[.]	[.]	[253.9]	[367.4]	[145.2]	[3.9]	[8.]	[.]	[3.9]	[8.]	[.]
	年齢調整死亡率	327.8	489.6	201.5	0.00	0.00	0.00	136.8	225.1	64.4	4.63	10.03	0.00	0.98	4.46	0.00
菰野町	死亡数	371	197	174	1	1	0	128	83	45	1	1	0	1	0	1
	率	[931.7]	[1010.8]	[855.8]	[2.5]	[5.1]	[.]	[321.4]	[425.9]	[221.3]	[2.5]	[5.1]	[.]	[2.5]	[.]	[4.9]
	年齢調整死亡率	368.2	534.3	242.2	0.93	2.40	0.00	146.5	229.4	81.6	0.93	2.40	0.00	0.50	0.00	0.64
朝日町	死亡数	55	29	26	0	0	0	18	11	7	1	0	1	1	0	1
	率	[626.2]	[663.8]	[589.]	[.]	[.]	[.]	[204.9]	[251.8]	[158.6]	[11.4]	[.]	[22.7]	[11.4]	[.]	[22.7]
	年齢調整死亡率	298.4	458.9	155.4	0.00	0.00	0.00	113.0	173.1	61.2	5.15	0.00	9.20	0.00	0.00	0.00
川越町	死亡数	118	71	47	0	0	0	31	22	9	1	1	0	0	0	0
	率	[864.5]	[1033.9]	[693.]	[.]	[.]	[.]	[227.1]	[320.4]	[132.7]	[7.3]	[14.6]	[.]	[.]	[.]	[.]
	年齢調整死亡率	429.0	695.7	257.2	0.00	0.00	0.00	121.2	201.3	46.2	3.68	9.43	0.00	0.00	0.00	0.00

死因別死亡率 = $\frac{\text{死因別死亡数}}{\text{人口}} \times 100,000$
 年齢調整死亡率 = $\frac{\{\text{観察集団の各年齢階級の死亡率} \times \text{基準人口集団のその年齢階級の人口}\} \text{の各年齢階級の総和}}{\text{基準となる人口集団の総和(昭和60年モデル人口)}} \times 100,000$

表 2

(2)

(平成20年確定数)

		心疾患 (高血圧性を除く)			脳血管疾患			大動脈瘤及び解離			肺炎			慢性閉塞性肺疾患		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
三重県	死亡数	2,875	1,394	1,481	1,924	845	1,079	223	131	92	1,828	984	844	261	217	44
	率	[153.8]	[153.]	[154.5]	[102.9]	[92.8]	[112.6]	[11.9]	[14.4]	[9.6]	[97.8]	[108.]	[88.]	[14.]	[23.8]	[4.6]
	年齢調整死亡率	60.5	81.9	42.7	36.9	46.5	29.2	4.96	7.35	3.25	31.2	49.6	20.2	4.72	10.83	0.96
管内	死亡数	359	162	197	249	106	143	28	14	14	267	122	145	36	32	4
	率	[127.]	[115.8]	[137.9]	[88.1]	[75.8]	[100.1]	[9.9]	[10.]	[9.8]	[94.4]	[87.2]	[101.5]	[12.7]	[22.9]	[2.8]
	年齢調整死亡率	54.0	65.7	43.6	36.5	42.7	30.3	4.40	5.97	2.72	32.0	45.6	23.4	5.50	13.57	0.60
桑名市	死亡数	174	78	96	111	45	66	15	8	7	149	72	77	12	11	1
	率	[123.2]	[112.4]	[133.5]	[78.6]	[64.9]	[91.8]	[10.6]	[11.5]	[9.7]	[105.5]	[103.8]	[107.1]	[8.5]	[15.9]	[1.4]
	年齢調整死亡率	57.2	70.1	45.6	36.7	38.2	33.5	4.64	6.49	2.94	40.0	59.0	27.8	4.12	10.68	0.51
いなべ市	死亡数	73	27	46	57	30	27	5	0	5	42	18	24	8	7	1
	率	[155.7]	[113.]	[200.]	[121.6]	[125.6]	[117.4]	[10.7]	[.]	[21.7]	[89.6]	[75.4]	[104.3]	[17.1]	[29.3]	[4.3]
	年齢調整死亡率	58.1	57.6	56.5	41.1	59.8	24.2	2.80	0.00	4.28	27.0	36.4	20.5	6.92	15.74	0.62
木曾岬町	死亡数	12	4	8	4	3	1	2	2	0	4	3	1	2	2	0
	率	[179.2]	[118.7]	[240.5]	[59.7]	[89.]	[30.1]	[29.9]	[59.3]	[.]	[59.7]	[89.]	[30.1]	[29.9]	[59.3]	[.]
	年齢調整死亡率	68.6	59.7	77.0	33.3	62.3	30.6	24.14	50.47	0.00	30.3	50.9	11.6	11.82	42.76	0.00
東員町	死亡数	27	10	17	19	10	9	0	0	0	14	4	10	4	4	0
	率	[105.5]	[79.9]	[129.9]	[74.2]	[79.9]	[68.8]	[.]	[.]	[.]	[54.7]	[31.9]	[76.4]	[15.6]	[31.9]	[.]
	年齢調整死亡率	45.9	46.4	46.5	34.5	48.0	22.9	0.00	0.00	0.00	20.0	19.5	19.0	6.19	17.99	0.00
菰野町	死亡数	47	28	19	35	12	23	5	4	1	45	18	27	7	5	2
	率	[118.]	[143.7]	[93.4]	[87.9]	[61.6]	[113.1]	[12.6]	[20.5]	[4.9]	[113.]	[92.4]	[132.8]	[17.6]	[25.7]	[9.8]
	年齢調整死亡率	49.0	70.9	31.3	30.3	36.3	24.3	5.24	10.56	0.64	31.1	41.1	25.4	6.06	12.48	1.29
朝日町	死亡数	7	4	3	10	1	9	0	0	0	3	1	2	3	3	0
	率	[79.7]	[91.6]	[68.]	[113.9]	[22.9]	[203.9]	[.]	[.]	[.]	[34.2]	[22.9]	[45.3]	[34.2]	[68.7]	[.]
	年齢調整死亡率	37.3	63.2	13.7	41.9	25.4	48.4	0.00	0.00	0.00	8.5	11.7	4.6	18.58	44.54	0.00
川越町	死亡数	19	11	8	13	5	8	1	0	1	10	6	4	0	0	0
	率	[139.2]	[160.2]	[118.]	[95.2]	[72.8]	[118.]	[7.3]	[.]	[14.7]	[73.3]	[87.4]	[59.]	[.]	[.]	[.]
	年齢調整死亡率	50.0	93.8	17.4	37.7	42.4	34.0	4.69	0.00	8.95	15.9	34.3	16.6	0.00	0.00	0.00

表 2

(3)

(平成20年確定数)

		喘息			肝疾患			腎不全			老衰			不慮の事故			自殺		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
三重県	死亡数	35	15	20	205	137	68	383	201	182	1,021	276	745	669	408	261	379	272	107
	率	[1.9]	[1.6]	[2.1]	[11.]	[15.]	[7.1]	[20.5]	[22.1]	[19.]	[54.6]	[30.3]	[77.7]	[35.8]	[44.8]	[27.2]	[20.3]	[29.9]	[11.2]
	年齢調整死亡率	0.76	0.84	0.68	5.91	9.50	2.65	6.81	10.38	4.72	13.3	13.2	13.2	18.6	28.5	10.0	17.7	26.5	9.0
管内	死亡数	2	2	0	17	12	5	50	25	25	118	40	78	93	57	36	46	34	12
	率	[.7]	[1.4]	[.]	[6.]	[8.6]	[3.5]	[17.7]	[17.9]	[17.5]	[41.7]	[28.6]	[54.6]	[32.9]	[40.7]	[25.2]	[16.3]	[24.3]	[8.4]
	年齢調整死亡率	0.31	0.82	0.00	3.82	6.42	1.50	6.70	9.88	4.77	11.5	14.8	9.7	17.2	26.9	9.3	13.5	21.1	5.7
桑名市	死亡数	2	2	0	7	6	1	27	11	16	63	22	41	53	34	19	19	17	2
	率	[1.4]	[2.9]	[.]	[5.]	[8.6]	[1.4]	[19.1]	[15.9]	[22.3]	[44.6]	[31.7]	[57.]	[37.5]	[49.]	[26.4]	[13.4]	[24.5]	[2.8]
	年齢調整死亡率	0.66	1.77	0.00	3.58	6.93	0.77	8.11	9.48	7.12	13.6	17.5	11.9	20.1	32.9	10.5	12.0	22.6	1.3
いなべ市	死亡数	0	0	0	4	3	1	9	7	2	19	4	15	16	10	6	9	6	3
	率	[.]	[.]	[.]	[8.5]	[12.6]	[4.3]	[19.2]	[29.3]	[8.7]	[40.5]	[16.7]	[65.2]	[34.1]	[41.9]	[26.1]	[19.2]	[25.1]	[13.]
	年齢調整死亡率	0.00	0.00	0.00	5.09	9.17	1.18	6.63	13.62	1.80	10.7	7.7	11.1	18.9	28.3	8.7	13.4	16.9	9.8
木曾岬町	死亡数	0	0	0	2	1	1	1	0	1	3	2	1	1	0	1	2	1	1
	率	[.]	[.]	[.]	[29.9]	[29.7]	[30.1]	[14.9]	[.]	[30.1]	[44.8]	[59.3]	[30.1]	[14.9]	[.]	[30.1]	[29.9]	[29.7]	[30.1]
	年齢調整死亡率	0.00	0.00	0.00	15.74	13.99	17.10	4.56	0.00	5.67	17.0	39.0	5.7	7.3	0.0	11.6	27.1	16.0	39.1
東員町	死亡数	0	0	0	1	1	0	2	1	1	4	0	4	5	2	3	0	0	0
	率	[.]	[.]	[.]	[3.9]	[8.]	[.]	[7.8]	[8.]	[7.6]	[15.6]	[.]	[30.6]	[19.5]	[16.]	[22.9]	[.]	[.]	[.]
	年齢調整死亡率	0.00	0.00	0.00	2.67	5.47	0.00	1.95	4.46	1.25	3.9	0.0	5.0	8.4	11.3	6.6	0.0	0.0	0.0
菰野町	死亡数	0	0	0	2	0	2	4	1	3	22	9	13	11	6	5	9	6	3
	率	[.]	[.]	[.]	[5.]	[.]	[9.8]	[10.]	[5.1]	[14.8]	[55.2]	[46.2]	[63.9]	[27.6]	[30.8]	[24.6]	[22.6]	[30.8]	[14.8]
	年齢調整死亡率	0.00	0.00	0.00	1.43	0.00	2.16	2.71	2.28	3.54	12.6	21.1	8.4	11.8	17.9	7.2	16.4	24.2	9.0
朝日町	死亡数	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	率	[.]	[.]	[.]	[11.4]	[22.9]	[.]	[11.4]	[.]	[22.7]	[11.4]	[.]	[22.7]	[.]	[.]	[.]	[.]	[.]	[.]
	年齢調整死亡率	0.00	0.00	0.00	10.28	21.97	0.00	3.36	0.00	4.56	3.4	0.0	4.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
川越町	死亡数	0	0	0	0	0	0	6	5	1	6	3	3	7	5	2	7	4	3
	率	[.]	[.]	[.]	[.]	[.]	[.]	[44.]	[72.8]	[14.7]	[44.]	[43.7]	[44.2]	[51.3]	[72.8]	[29.5]	[51.3]	[58.2]	[44.2]
	年齢調整死亡率	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	18.58	52.90	2.28	9.4	32.3	2.3	32.6	52.9	14.6	52.0	71.7	34.0

表3 市別悪性新生物死亡数・死亡率（人口10万人対）、年齢調整死亡率（人口10万人対）
（ 1 ）

（平成20年確定数）

		悪性新生物 総数			内訳														
					食道			胃			結腸			直腸S状結腸移行部及び直腸			肝及び肝内胆管		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
三重県	死亡数	4,925	3,035	1,890	150	128	22	787	531	256	421	216	205	199	135	64	425	287	138
	率	[263.4]	[333.1]	[197.2]	[8.]	[14.]	[2.3]	[42.1]	[58.3]	[26.7]	[22.5]	[23.7]	[21.4]	[10.6]	[14.8]	[6.7]	[22.7]	[31.5]	[14.4]
	年齢調整死亡率	124.9	180.6	81.4	4.14	7.90	0.86	19.7	31.8	9.9	9.88	12.71	7.69	5.46	8.51	2.95	11.0	17.6	5.2
管内	死亡数	744	478	266	19	18	1	109	77	32	54	30	24	42	30	12	63	50	13
	率	[263.2]	[341.7]	[186.2]	[6.7]	[12.9]	[.7]	[38.6]	[55.]	[22.4]	[19.1]	[21.4]	[16.8]	[14.9]	[21.4]	[8.4]	[22.3]	[35.7]	[9.1]
	年齢調整死亡率	135.3	203.7	80.2	3.32	6.85	0.24	20.5	34.2	9.5	9.5	13.4	6.1	8.2	13.7	3.6	12.3	21.0	4.4
桑名市	死亡数	347	216	131	7	7	0	49	32	17	33	16	17	22	18	4	26	21	5
	率	[245.6]	[311.4]	[182.2]	[5.]	[10.1]	[.]	[34.7]	[46.1]	[23.6]	[23.4]	[23.1]	[23.6]	[15.6]	[25.9]	[5.6]	[18.4]	[30.3]	[7.]
	年齢調整死亡率	132.1	191.5	86.5	2.55	5.36	0.00	19.1	29.6	11.2	11.3	13.7	9.5	9.5	17.5	2.9	10.1	17.7	3.5
いなべ市	死亡数	131	88	43	4	4	0	18	12	6	7	5	2	7	4	3	15	12	3
	率	[279.4]	[368.4]	[186.9]	[8.5]	[16.7]	[.]	[38.4]	[50.2]	[26.1]	[14.9]	[20.9]	[8.7]	[14.9]	[16.7]	[13.]	[32.]	[50.2]	[13.]
	年齢調整死亡率	137.6	213.2	72.0	3.65	8.64	0.00	18.3	27.9	10.4	8.4	14.2	2.4	5.9	9.7	2.4	15.2	27.0	3.6
木曽岬町	死亡数	24	12	12	2	2	0	4	3	1	2	0	2	2	0	2	1	1	0
	率	[358.3]	[356.]	[360.7]	[29.9]	[59.3]	[.]	[59.7]	[89.]	[30.1]	[29.9]	[.]	[60.1]	[29.9]	[.]	[60.1]	[14.9]	[29.7]	[.]
	年齢調整死亡率	168.8	189.7	131.8	15.94	31.70	0.00	31.6	46.9	16.3	12.4	0.0	21.4	16.5	0.0	33.4	8.1	17.0	0.0
東員町	死亡数	65	46	19	3	2	1	12	11	1	3	3	0	4	3	1	6	4	2
	率	[253.9]	[367.4]	[145.2]	[11.7]	[16.]	[7.6]	[46.9]	[87.9]	[7.6]	[11.7]	[24.]	[.]	[15.6]	[24.]	[7.6]	[23.4]	[31.9]	[15.3]
	年齢調整死亡率	136.8	225.1	64.4	6.30	8.32	3.09	24.3	53.9	1.2	9.1	17.5	0.0	7.6	15.0	4.0	13.8	17.7	9.3
菰野町	死亡数	128	83	45	2	2	0	23	18	5	5	3	2	5	4	1	10	7	3
	率	[321.4]	[425.9]	[221.3]	[5.]	[10.3]	[.]	[57.8]	[92.4]	[24.6]	[12.6]	[15.4]	[9.8]	[12.6]	[20.5]	[4.9]	[25.1]	[35.9]	[14.8]
	年齢調整死亡率	146.5	229.4	81.6	2.60	5.47	0.00	28.9	56.9	5.0	4.3	7.5	2.2	7.1	13.6	0.6	13.5	20.6	8.5
朝日町	死亡数	18	11	7	0	0	0	2	0	2	2	1	1	0	0	0	1	1	0
	率	[204.9]	[251.8]	[158.6]	[.]	[.]	[.]	[22.8]	[.]	[45.3]	[22.8]	[22.9]	[22.7]	[.]	[.]	[.]	[11.4]	[22.9]	[.]
	年齢調整死亡率	113.0	173.1	61.2	0.00	0.00	0.00	13.2	0.0	25.3	11.6	14.1	9.2	0.0	0.0	0.0	10.3	22.0	0.0
川越町	死亡数	31	22	9	1	1	0	1	1	0	2	2	0	2	1	1	4	4	0
	率	[227.1]	[320.4]	[132.7]	[7.3]	[14.6]	[.]	[7.3]	[14.6]	[.]	[14.7]	[29.1]	[.]	[14.7]	[14.6]	[14.7]	[29.3]	[58.2]	[.]
	年齢調整死亡率	121.2	201.3	46.2	0.00	0.00	0.00	10.1	18.8	0.0	10.30	22.36	0.00	8.28	10.30	6.03	21.1	40.9	0.0

表3

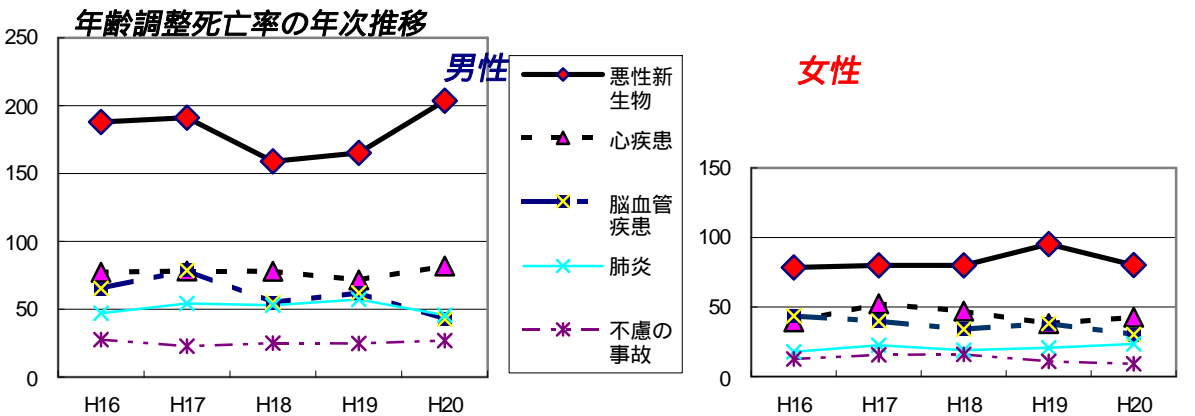
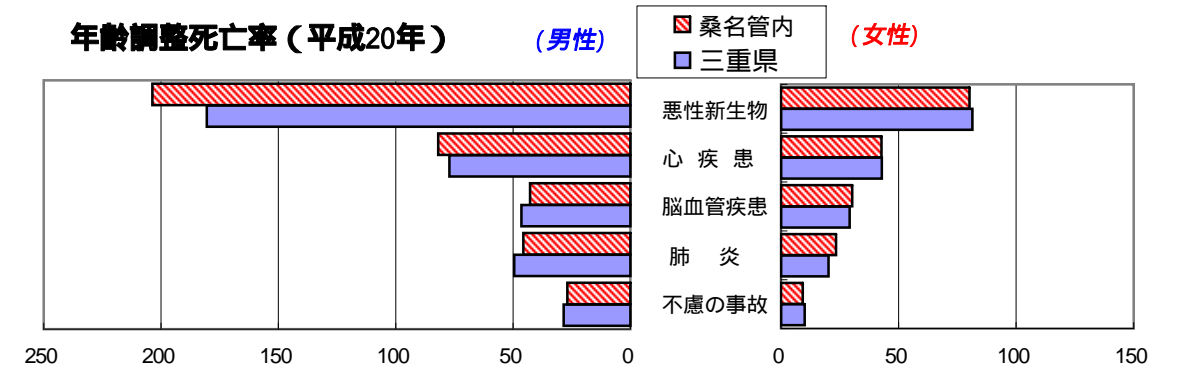
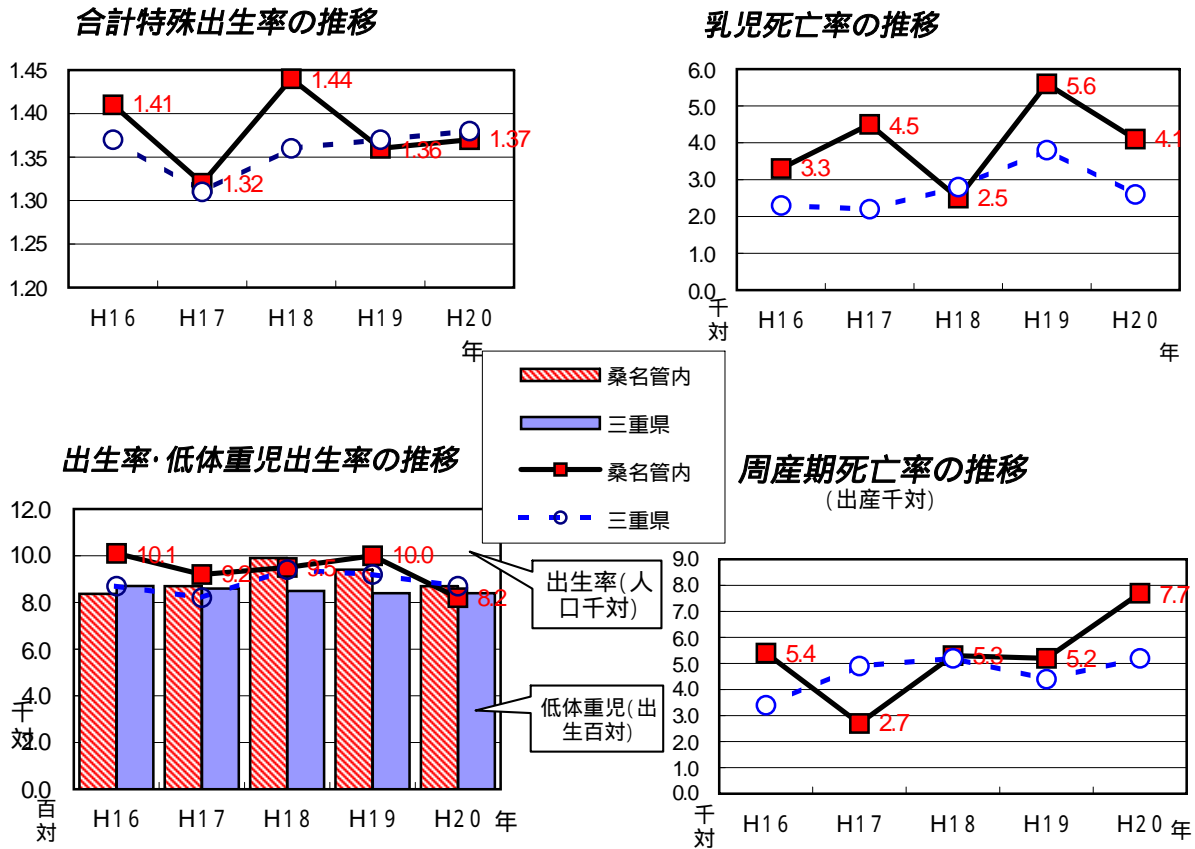
(2)

(平成20年確定数)

		内訳																	
		胆のう及びその他の胆道			膵			気管、気管及び肺			乳房			子宮			白血 病		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
三重県	死亡数	262	120	142	405	208	197	994	725	269	135	3	132	76	・	76	109	74	35
	率	[14.]	[13.2]	[14.8]	[21.7]	[22.8]	[20.6]	[53.2]	[79.6]	[28.1]	[7.2]	[.3]	[13.8]	[7.9]		[7.9]	[5.8]	[8.1]	[3.7]
	年齢調整死亡率	5.6	6.7	4.8	10.45	12.93	8.22	24.7	41.5	11.9	4.39	0.16	8.23	・	・	4.20	3.44	5.12	2.00
管内	死亡数	46	23	23	68	42	26	148	109	39	20	0	20	12	・	12	14	8	6
	率	[16.3]	[16.4]	[16.1]	[24.1]	[30.]	[18.2]	[52.3]	[77.9]	[27.3]	[7.1]	[.]	[14.]	[4.2]		[8.4]	[5.]	[5.7]	[4.2]
	年齢調整死亡率	7.2	9.1	5.6	12.1	16.8	8.4	26.9	45.4	12.3	3.3	0.0	6.0	・	・	5.3	3.7	4.2	3.3
桑名市	死亡数	17	10	7	35	22	13	64	48	16	12	0	12	9	・	9	5	3	2
	率	[12.]	[14.4]	[9.7]	[24.8]	[31.7]	[18.1]	[45.3]	[69.2]	[22.3]	[8.5]	[.]	[16.7]	[6.4]		[12.5]	[3.5]	[4.3]	[2.8]
	年齢調整死亡率	5.9	9.5	3.2	12.4	17.4	8.6	24.2	42.6	9.8	4.7	0.0	8.4	・	・	7.8	3.2	3.3	3.9
いなへ市	死亡数	10	5	5	8	6	2	28	21	7	2	0	2	1	・	1	4	2	2
	率	[21.3]	[20.9]	[21.7]	[17.1]	[25.1]	[8.7]	[59.7]	[87.9]	[30.4]	[4.3]	[.]	[8.7]	[2.1]		[4.3]	[8.5]	[8.4]	[8.7]
	年齢調整死亡率	10.4	10.8	10.3	11.3	19.4	4.4	28.2	46.5	14.7	0.5	0.0	0.6	・	・	2.4	5.7	4.8	7.0
木曾岬町	死亡数	4	2	2	2	1	1	3	1	2	1	0	1	0	・	0	0	0	0
	率	[59.7]	[59.3]	[60.1]	[29.9]	[29.7]	[30.1]	[44.8]	[29.7]	[60.1]	[14.9]	[.]	[30.1]	[.]		[.]	[.]	[.]	[.]
	年齢調整死亡率	25.6	32.4	11.3	7.3	0.0	11.6	24.3	16.5	32.1	0.0	0.0	0.0	・	・	0.0	0.0	0.0	0.0
東員町	死亡数	2	0	2	5	3	2	13	9	4	1	0	1	1	・	1	1	1	0
	率	[7.8]	[.]	[15.3]	[19.5]	[24.]	[15.3]	[50.8]	[71.9]	[30.6]	[3.9]	[.]	[7.6]	[3.9]		[7.6]	[3.9]	[8.]	[.]
	年齢調整死亡率	2.9	0.0	4.3	9.8	13.5	8.6	29.6	42.2	18.0	2.2	0.0	4.1	・	・	4.3	2.1	4.0	0.0
菰野町	死亡数	10	4	6	14	8	6	24	18	6	3	0	3	1	・	1	2	0	2
	率	[25.1]	[20.5]	[29.5]	[35.2]	[41.]	[29.5]	[60.3]	[92.4]	[29.5]	[7.5]	[.]	[14.8]	[2.5]		[4.9]	[5.]	[.]	[9.8]
	年齢調整死亡率	9.8	9.2	10.5	17.3	19.5	17.1	28.2	52.9	6.6	5.0	0.0	9.7	・	・	3.1	1.0	0.0	1.3
朝日町	死亡数	1	1	0	1	1	0	6	4	2	0	0	0	0	・	0	1	1	0
	率	[11.4]	[22.9]	[.]	[11.4]	[22.9]	[.]	[68.3]	[91.6]	[45.3]	[.]	[.]	[.]	[.]		[.]	[11.4]	[22.9]	[.]
	年齢調整死亡率	0.0	0.0	0.0	10.3	22.0	0.0	28.8	52.9	9.1	0.0	0.0	0.0	・	・	0.0	18.6	36.4	0.0
川越町	死亡数	2	1	1	3	1	2	10	8	2	1	0	1	0	・	0	1	1	0
	率	[14.7]	[14.6]	[14.7]	[22.]	[14.6]	[29.5]	[73.3]	[116.5]	[29.5]	[7.3]	[.]	[14.7]	[.]		[.]	[7.3]	[14.6]	[.]
	年齢調整死亡率	3.8	11.4	2.3	9.12	10.78	4.56	38.0	56.7	22.1	0.00	0.00	0.00	・	・	0.00	4.69	9.86	0.00

グラフ1

平成20年は、桑名管内に菟野町、川越町、朝日町が含まれます。



2 三重県総合計画

県民しあわせプラン第二次戦略計画における事業実績

1 県民しあわせプラン第二次戦略計画における事業実績

桑名保健福祉事務所（桑名保健所及び北勢福祉事務所）各課における事業実績を、「第二次戦略計画」による「施策 - 目的 - 主な取組内容」の順に並び替えました。従って、「第二次戦略計画」のうち保健福祉事務所業務に関係しない部分は省略してあります。また、同じ施策で複数の課で担当している事業もあります。

2 県民しあわせプラン第二次戦略計画の政策体系

(政策展開の基本方向<五つの柱>)

第1節 一人ひとりの思いを支える社会環境の創造と人づくり

(政策)

(施策)

1 一人ひとりが尊重され、誰もが参画できる社会の実現

1 人権尊重社会の実現

2 男女共同参画社会の実現(基本事業11201～11204)

...18

2 豊かな個性を育む人づくりの推進(施策については省略)

1,2,3

3 文化・スポーツを通じた自己実現(施策については省略)

1,2

第2節 安心を支える雇用・就業環境づくりと元気な産業づくり(施策については省略)

1 安心を支える雇用と就業環境づくりの推進

1,2

2 安心を支える力強い農林水産業の振興

1,2,3,4,5,6,7

3 地域経済を支える戦略的な産業振興

1,2,3,4

第3節 安全な暮らしの確保と安心できる生活環境の創造

1 災害に強い県土づくりの推進

1 防災対策の推進(基本事業31101～31108)

...21

2 治山・治水・海岸保全対策の推進

2 安全な生活の確保

1 交通安全対策の推進

2 地域安全対策の推進

3 安全で安心できる消費生活の確保

4 食の安全と暮らしの衛生の確保(基本事業32401～32406)

...22

5 感染症対策の推進(基本事業32501～32503)

...32

3 健やかな暮らしを育むささえあい社会の構築

1 健康づくりの推進(基本事業33101～33106)

...41

2 子育て環境の整備(基本事業33201～33205)

...49

3 地域とともに進める福祉社会づくり(基本事業33301～33305)

...57

4 安心を支える医療・福祉の推進

1 医療体制の整備(基本事業34101～34108)

...60

2 生活保障の確保(基本事業34201～34203)

...72

3 高齢者保健福祉の推進(基本事業34301～34304)

...73

4 障がい者保健福祉の推進(基本事業34401～34405)

...76

第4節 持続可能な循環型社会の創造

(施策については省略)

1 資源循環型社会の構築

1,2,3

2 自然との共生の確保

1,2

3 環境保全活動の推進

1

4 土地・水・エネルギー資源の効率的な利用の推進

1,2,3

第5節 人と地域の絆づくりと魅力あふれるふるさと創造(施策については省略)

1 多様な交流と連携の促進

1,2,3

2 県民参画による地域づくりと交流・連携を支える絆づくりの推進

1,2,3,4,5

3 活力ある地域づくりの推進

1,2,3

4 快適なまちづくりの推進

1,2

5 交流・連携を広げ社会を支える基盤の整備

1,2,3,4

第1節 一人ひとりの思いを支える社会環境の創造と人づくり

< 1 > -1 一人ひとりが尊重され、誰もが参画できる社会の実現

112 男女共同参画社会の実現

11204 心身の健康支援と性別に基づく暴力等への取組

(主担当: 福祉相談室 福祉課)

主な取組内容

1. 女性相談員を配置し、ドメスティック・バイオレンス(DV)に関する相談体制を強化します。

1 女性相談事業

平成14年度から婦人相談員(女性相談員)を配置して、女性が抱えるいろいろな悩みや心配ごとなどの相談に応じている。

平成21年度は次のとおり実施した。

(1) 平成21年度相談件数

	来所	電話	出張・訪問	その他	計
新規・再来相談(実人数)	66	98	23	0	187
延べ件数	613	240	180	0	1,033

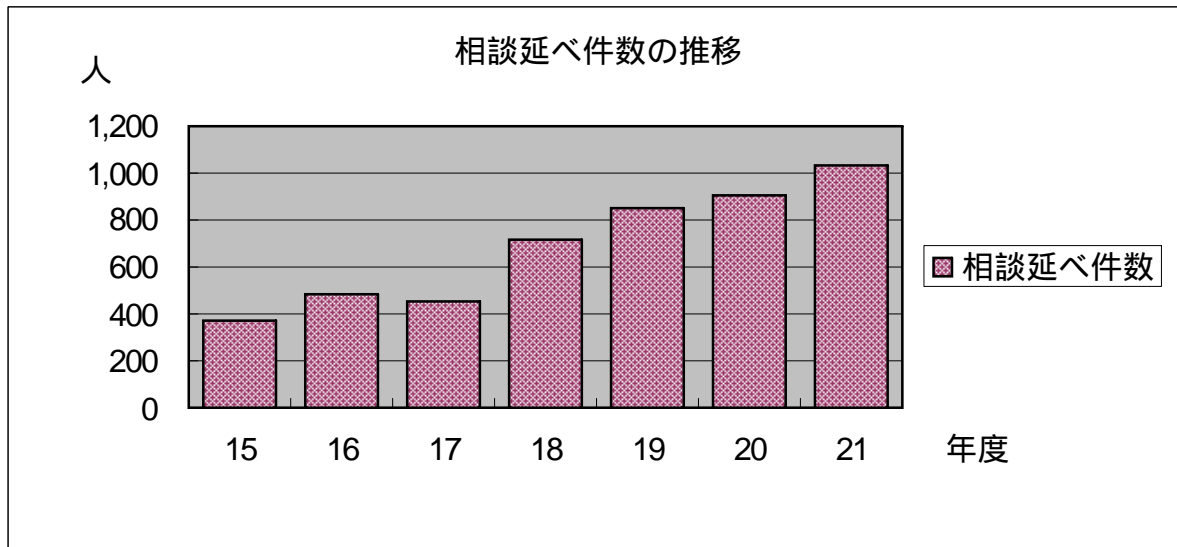
(2) 平成21年度相談主訴別受付状況(新規・再来相談実人数)

		来所	電話	出張・訪問	その他	計	
人間関係	夫等	夫等の暴力	34	27	11	0	72
		酒乱・薬物中毒	1	0	0	0	1
		離婚問題	21	24	5	0	50
		その他	3	7	4	0	14
	子ども	子どもの暴力	0	1	0	0	1
		養育不能	0	1	0	0	1
		その他	0	7	0	0	7
	親族	親の暴力	0	0	0	0	0
		その他の親族の暴力	0	0	0	0	0
		その他	4	5	0	0	9
		家庭不和	0	6	0	0	6
		その他の者の暴力	0	0	0	0	0
		男女問題	0	1	2	0	3
		その他	2	14	0	0	16
	住居問題	0	1	0	0	1	
	帰住先なし	0	1	0	0	1	
経済関係	生活困窮	1	0	0	0	1	
	借金・サラ金	0	0	0	0	0	
	求職	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	1	0	1	
医療関係	病気	0	1	0	0	1	
	精神的問題	0	2	0	0	2	
	妊娠・出産	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	不純異性交遊	0	0	0	0	0	
	ヒモ・暴力団関係	0	0	0	0	0	
	5条違反	0	0	0	0	0	
	トラフィッキング	0	0	0	0	0	
	合計	66	98	23	0	187	

平成16年度から主訴の分類を変更した。

(3) 相談件数の推移(三重郡含む)

年度	15	16	17	18	19	20	21
相談延べ件数	371	484	453	716	851	905	1,033



第3節 安全な暮らしの確保と安心できる生活環境の創造

< 3 > -1 災害に強い県土づくりの推進

311 防災対策の推進

31106 災害時医療体制の整備・被災者対策の推進

(主担当: 保健衛生室 総務企画課)

主な取組内容

1. 災害拠点病院・薬局との連携を図ります。

1 災害拠点病院

災害拠点病院とは、災害時に多発する重篤救急患者の救命医療を行うための高度診療、被災地からの重症患者の受入れ及び広域搬送への対応、医療救護班の派遣、地域の医療機関への応急用資材の貸し出しを担う病院として、三重県知事が指定している病院です。

(1) 桑名管内災害拠点病院

名称	郵便番号	住所	電話番号	指定日
三重県厚生農業協同組合連合会 いなべ総合病院	511-0428	いなべ市北勢町阿下喜771	0594 (72) 2000	平成19年12月26日



http://www.miekosei.or.jp/4_ish/

いなべ総合病院ホームページより

2 地域災害拠点薬局

地域災害拠点薬局を指定することにより、大規模災害発生時に必要な医薬品等の確保及び供給を図る。

(1) 桑名地域災害拠点薬局

名称	郵便番号	住所	電話番号	指定日
モリワキ薬局	511-0233	員弁郡東員町城山3-21-10	0594- 76-7898	平成18年4月1日

(2) 四日市地域災害拠点薬局

名称	郵便番号	住所	電話番号	指定日
医薬分業推進支援センター	510-0093	四日市市本町9-8	059- 354-8440	平成18年4月1日

< 3 > -2 安全な生活の確保
324 食の安全とくらしの衛生の確保
32401 食の安全・安心の確保

(主担当:保健衛生室 衛生指導課、食の安心・安全監視課)

主な取組内容

1. 食品の製造、流通および販売にいたるまでの衛生、規格等について監視、指導、検査を実施することにより、食生活の安全確保に努めます。
2. 食品表示の適正化を図るため監視指導を進めます。

1 食品衛生

飲食に起因する衛生上の危害を未然に防止するため、食品施設の重点監視、夏期・年未年始の一斉監視、食品衛生専門監視班による製造業施設等の監視及び食品の収去検査を実施するとともに、各施設の食品衛生責任者に対する食品衛生講習会、その他専門業種・大規模施設従事者に対する衛生講習会を開催することにより、食品衛生思想の普及向上に努めた。

(1) 食品関係施設数及び監視状況

ア 許可を要する施設

業種	項目	施設数	新規	更新	廃業	監視数
飲食店営業		2,483	341	293	341	788
菓子(パンを含む)製造業		390	49	42	12	150
乳処理業		2	0	0	0	1
乳製品製造業		4	0	1	0	3
魚介類販売業		306	20	38	18	176
魚介類せり売営業		1	0	0	0	0
魚肉ねり製品製造業		7	0	0	1	6
食品の冷凍又は冷蔵業		16	0	0	0	13
かん詰びん詰食品製造業		6	0	0	0	6
喫茶店営業		921	101	62	39	109
あん類製造業		2	0	0	0	6
アイスクリーム類製造業		100	7	10	8	83
乳類販売業		447	33	26	30	150
食肉処理業		11	1	4	0	7
食肉販売業		302	16	40	15	153
食肉製品製造業		2	0	1	0	0
食用油脂製造業		1	0	0	0	1
みそ製造業		17	2	0	0	5
醤油製造業		6	0	0	0	4
ソース類製造業		4	0	0	0	5
酒類製造業		7	0	1	0	1
豆腐製造業		12	0	3	2	5
納豆製造業		2	0	0	0	5
めん類製造業		21	1	3	4	3
そうざい製造業		54	2	8	0	43
添加物製造業		3	0	0	0	0
清涼飲料水製造業		12	1	3	0	7
冰雪製造業		1	0	0	1	0
冰雪販売業		5	0	1	0	1
総数		5,145	574	536	471	1,731

イ 許可を要しない届出施設

業 種		施設数	監視数
許可を要しない食品若しくは 添加物の製造・販売業		249	524
器具・容器若しくはおもちゃの製造業		0	0
給食施設	学校	60	0
	病院・診療所	43	17
	事業所	35	0
	その他	123	0
計		510	541

ウ 食の安全・安心監視課監視件数

区 分	桑名管内	鈴鹿管内	計
学校給食等	0	30	30
社会福祉施設等	0	53	53
病院・その他	119	85	204
重要施設 (製造業等)	42	13	55
合 計	161	181	342

(2) 食品衛生月間における啓発活動

ア 日程

- 8月4日(火) 10:00～ ピアゴ多度店
 8月5日(水) 10:00～ Aコープ長島店
 8月6日(木) 10:00～ ジャスコ大安店
 8月11日(火) 14:00～ マックスバリュースンリバー

イ 内容

各地区食品衛生指導員と協働で、リーフレット、うちわの配布による街頭啓発活動

(3) 食中毒事故発生件数(3件)

発生時期	発生場所	原因食品	原因物質	喫食者数	患者数
H21.6.15	員弁郡	牛生レバー	カンピロバクター	4人	3人
H21.9.20	三重郡	不明	カンピロバクター	37人	20人
H22.2.6	桑名市	不明	ノロウイルス	37人	14人

(4) 食品等の収去及び拭き取り検査結果

ア 衛生指導課実施分

検査結果 収去検体	収去検体数	不良検体数	不良理由 (延数)		
			細菌	化学	その他
魚介類	1	0	0	0	0
魚介類加工品 (缶詰・びん詰を除く。)	5	0	0	0	0
肉卵類及びその加工品 (缶詰・びん詰を除く。)	9	0	0	0	0
牛乳及び乳製品	0	0	0	0	0
穀類及びその加工品 (缶詰・びん詰を除く。)	0	0	0	0	0
野菜類・果物及びその加工品 (缶詰・びん詰を除く。)	16	0	0	0	0
菓子類	36	2	2	0	0
酒精飲料	2	0	0	0	0
その他の食品	72	12	12	0	0
小計	141	14	14	0	0
保存食	0	0	0	0	0
器具等の拭き取り	30	2	2	0	0
合計	171	16	16	0	0

イ 食の安全・安心監視課実施分

区分	桑名管内	鈴鹿管内	計
収去	165	12	177
ふき取り	0	0	0
合計	165	12	177

(5) 免許取得状況

四日市市保健所受付分含む

区分	受験申込者数 (人)	合格者数 (人)
調理師 試験	211	135
製菓衛生師 試験	114	62

(6) 衛生管理確認

三重県HACCP導入認定制度に参加している施設の衛生管理についても確認を実施した。

桑名管内	鈴鹿管内	計
1	4	5

(7) 食品衛生講習会

管内食品関係事業者に対して、食中毒防止啓発等を目的とした食品衛生講習会を実施した。

実施回数	参加者数
61回	2,529人

2 食品表示等指導相談事業

食品の不適正表示(表示事項の欠落等)を減少させるため、計画的に、販売業者等に対して、「みえの食品安全・安心表示ガイドライン」の周知を行うとともに、JAS法等に基づく食品表示の監視指導を行った。

食品表示ウォッチャーのモニター報告により表示違反が疑われる場合や、消費者からの通報があった場合には、調査指導を行った。

(1) 製造業への表示監視・指導実施状況

対象	施設数	監視件数 (桑名衛生指導課実施分再掲)
製造業	786	786 (261)

業種	桑名管内	鈴鹿管内	四日市市	計
製造業	261	184	37	482

(2) 販売・流通段階における表示の監視指導実施状況

監視指導対象	監視店舗数
販売業者(桑名)	40
販売業者(鈴鹿)	37
販売業者(四日市市)	7
公設市場(北勢市場)	29
計	113

(3) 表示通報・指導

スーパー				その他			
食衛法		JAS法		食衛法		JAS法	
通報件数	指導件数	通報件数	指導件数	通報件数	指導件数	通報件数	指導件数
3	5	5	7	5	4	14	10

(4) 表示相談

実件数	延べ件数	内 訳			
		食衛法	JAS法	景表法	その他
200	365	151	182	16	16

(5) 食品表示に関する講習会実施状況

対象	回数	受講者数
食品事業者	8	335

32402 生活衛生営業の衛生水準の確保

(主担当:保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

1. 生活衛生関係事業者に対し衛生指導を行い、衛生水準意識の向上と自主管理体制の整備に努めます。
2. 理容・美容所等の立入調査や旅館・モーターの監視指導を行っていきます。

1 環境衛生

環境衛生営業施設について、環境衛生監視員が各法令に基づきそれぞれ公衆衛生上遵守すべき事項について監視指導を行った。また、時代のニーズに対応した新しい施設が増加しつつあることから、営業の近代化、合理化のための必要な指導、助言を行った。

(1) 環境衛生関係営業施設数及び監視指導状況

業種	区分	施設数 (2010.3.31現在)	監視指導件数	開設数	廃止数
理容所		245	28	2	2
美容所		373	41	9	6
クリーニング所		344	11	2	16
公衆浴場		62	33	3	3
興行場		11	8	1	1
旅館業		150	40	7	6
合計		1,185	161	24	34

「興行場」の開設数及び廃止数は仮設営業によるものである。

32403 医薬品等の安全確保

(主担当: 保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

1. 薬事法、毒物及び劇物取締法、麻薬及び向精神薬取締法等に基づき、これらの施設に対する監視指導を実施します。
2. 「愛の血液助け合い運動」をはじめとするキャンペーンに取り組み、献血思想の普及啓発等による献血の推進を図り県内で必要な血液を確保します。

1 薬事

薬事関係法令の規定に基づき、薬局及び医薬品販売業者等への監視指導を行い、医薬品等の品質確保に努めるとともに、毒物劇物営業者及び麻薬取扱者等に対しても適正な取扱指導を行い危害の防止に努めた。

(1) 薬事関係営業施設数及び監視指導状況

業 種		施設数	監視数
薬 局		112	31
医薬品 販売業	卸売(一般)	27	12
	店舗・薬種商・一般	32	17
	特例	7	2
高度管理 医療機器	販売業	68	12
	賃貸業	22	6
管理 医療機器	販売業	759	73
	賃貸業	33	6
毒物劇物	販売業	147	29
	届出	4	3
	製造業	39	23
計		1,250	214

2 献血推進

血液需要の円滑な供給を図るため、街頭ページェントなど献血思想の普及、啓発事業を実施した。

また、高校生による献血ボランティア（ヤングミドナサポーター）を募集し、三重県血液センターの見学会や街頭ページェントの際の来客等への普及啓発活動を一緒に取組むことにより、若年者への献血思想の普及啓発を図った。

(1) 「愛の血液助け合い運動」街頭ページェントの実施

期 日	場 所	受付者数	献血者数
7月21日	星川ショッピングセンター	62名	47名
8月12日	ジャスコ大安店	105名	85名

(2) ウィンター献血キャンペーンの実施

開催日	場 所	受付者数	献血者数
12月24日	ジャスコ大安店	88名	62名
1月24日	アピタ桑名店	56名	47名

(3) スプリング献血キャンペーンの実施

開催日	場 所	受付者数	献血者数
3月21日	星川ショッピングセンター	66名	51名

(4) 市町別献血状況

区分	年度	献血量	計	桑名市	いなべ市	桑名郡		三重郡		
						木曾岬町	東員町	菰野町	朝日町	川越町
献血数	17	200ml	1	1	-	-	-			
		400ml	3,594	2,545	654	45	350			
	18	200ml	4	3	-	-	1			
		400ml	3,689	2,435	826	46	382			
	19	200ml	1	1	-	-	-			
		400ml	3,549	2,325	757	87	380			
	20	200ml	-	-	-	-	-	-	-	-
		400ml	4,371	2,232	731	67	376	481	182	302
	21	200ml	-	-	-	-	-	-	-	-
		400ml	4,205	2,173	733	65	252	457	187	338

32404 薬物乱用防止対策の充実

(主担当:保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

1. 不正大麻とけし栽培の取締りを実施します。
2. 薬物乱用の未然防止をはかるため、街頭における啓発活動等を実施します。

1 薬物乱用防止対策

薬物乱用防止対策の推進として、地域における薬物乱用防止対策を総合的かつ効果的に推進するため、各関係機関の協力を得て「大麻・けしクリーンアップ事業」、「ダメ。ゼッタイ。普及運動」及び「麻薬・覚せい剤乱用防止運動」等の効果的な啓発運動を実施した。

薬物乱用防止指導員及び薬物乱用防止啓発団体からなる桑名地区薬物乱用防止指導者協議会を平成20年9月18日に設立し、多様な主体との協働による薬物乱用防止対策の実施に向けた取組を行った。

(1) 県民参加による大麻・けしクリーンアップ事業

- ・実施時期：平成21年4月1日～6月30日
- ・管内で3,424本のけしを除去



(2) 三重県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン

- ・日時：平成21年6月25日(木)
- ・場所：JR桑名駅前
- ・内容：通勤通学時の通行人にパンフレット等啓発物品を配布した。

(3) 麻薬・覚せい剤乱用防止運動ポスター展示

- ・日時：平成21年10月9日～10月14日
- ・場所：アピタ桑名店

(4) 小学生等への啓発(薬物乱用防止教室)

- ・日時：平成21年7月から平成22年2月
- ・対象：管内小中学校の学生 448名
- ・内容：薬物見本、パワーポイント等により啓発を行った。

(5) 桑名地区薬物乱用防止指導者協議会研修会

- ・日時：平成22年2月18日(木)
- ・参加者：桑名地区薬物乱用防止指導者協議会委員14名
- ・内容：三重刑務所施設見学及び薬物依存離脱指導の取組について

32405 人と動物との共生環境づくりの推進

(主担当: 保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

1. 狂犬病予防のために野犬の捕獲を行います。
2. 動物愛護についての普及啓発のために動物愛護ポスター展等を実施します。
3. 犬とはどういう動物であるかを実体験を通して理解してもらうことにより、正しい理解のもとに生命を尊重する精神を育むこと、また、犬による危害の被害者が減少すること、更には、盲導犬等の紹介を通して、人と動物が共生している事を学んでもらうことを目的として、小学生、幼稚園児、保育園児等を対象に「犬との接し方教室」を実施します。
4. 保健所で引取った子犬を適正飼養ができる飼い主へ譲渡し、生存の機会を設けるため、「動物を飼う前教室」を実施します。
5. 動物の愛護及び管理に関する法律に基づく動物取扱業登録手続きを実施します。

1 狂犬病予防

狂犬病予防法及び三重県動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、狂犬病発生防止に努めるとともに、関係市町の協力の下に畜犬の収容、放し飼い防止などの飼育指導を行い、畜犬による人畜その他の危害の発生防止に努めた。なお、猫の収容も行った。

(1) 畜犬捕獲等業務

年度	畜犬捕獲及び収容頭数	返還頭数	咬傷犬届出件数	猫引取数
平成14年度	362	37	13	267
平成15年度	330	28	22	344
平成16年度	290	44	17	290
平成17年度	290	49	16	243
平成18年度	255	25	16	266
平成19年度	232	41	14	236
平成20年度	217	37	13	310
平成21年度	201	46	11	258

(2) 犬に関する苦情受付件数

総数	係留義務違反(放し飼い)	迷惑・モラル等(ふいん・鳴き声等)	咬傷事故	野犬捕獲依頼	飼い犬引取り依頼	その他
406	45	108	19	185	45	4

(3) 猫に関する苦情受付件数

総数	放し飼い	迷惑・モラル等(ふいん・鳴き声等)	野良猫の捕獲について	野良猫引取り依頼	飼い猫引取り依頼	その他
442	41	103	133	138	26	1

2 動物愛護

(1) 動物愛護の絵・ポスター募集

動物愛護週間行事の一環として各小学校、中学校の児童生徒を対象に動物愛護の絵・ポスターを募集し、入賞作品の展示を実施した。

ア．動物愛護の絵・ポスター応募枚数

	応募枚数	入賞枚数
小学校	1,570枚	7枚
中学校	180枚	3枚

イ．動物愛護の絵・ポスター入賞作品展

期間	会場
平成21年10月3日～10月6日	アピタ桑名店中央エレベーターホール

(2) 動物を愛護する心の啓発事業

人と動物とのかかわりについて学ぶ機会と動物愛護意識の高揚に向けた啓発を充実させるため、小学校の児童を対象に出前教室などの事業を行った。(三重県動物愛護管理センター(財団法人三重県小動物施設管理公社)との協働による新規事業)

開催状況

開催回数	参加者数
5回	215人

3 動物飼う前教室

(1) 開催状況

開催回数	参加者数
4回	6人

4 動物取扱業

(1) 動物取扱業営業登録施設数及び監視指導状況

動物の愛護及び管理に関する法律(平成17年6月22日改正)により平成18年6月1日より、動物取扱業は登録が必要となった。この登録のあった施設の監視指導を行った。

動物取扱業営業登録施設数及び監視指導状況

施設数	登録数	廃止数	監視指導件数
86件	9件	6件	45件

325 感染症対策の推進 32501 感染症危機管理体制の確保

(主担当: 保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

1. 法に規定されている感染症の患者が発生した場合、患者や家族等の接触者に対して調査や検査を実施し、まん延を防止します。
2. エイズを含む性感染症のまん延防止を図るため、知識の普及、啓発を図るとともに、相談や検査を実施します。

1 感染症の予防事業

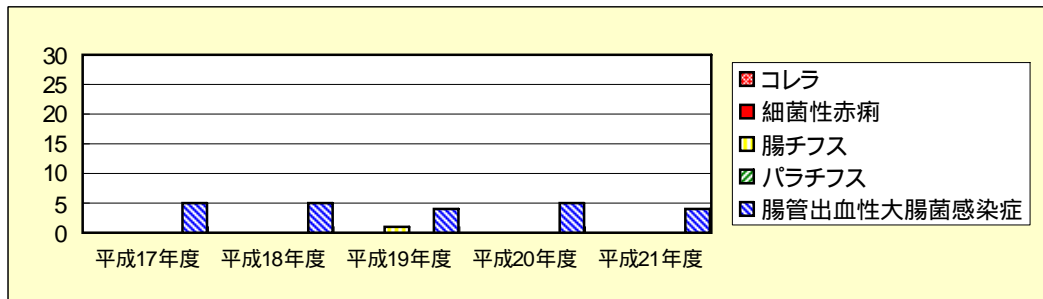
感染症発生時において、患者調査と家族、接触者検診の実施および感染拡大防止のための措置を講じた。

(1) 一類感染症発生状況 0 件

(2) 二類・三類感染症発生状況(結核を除く) 4 件

種別 年度	二類感染症			三類感染症				
	重症急性製呼吸器症候群候群	急性灰白髄炎	ジフテリア	コレラ	細菌性赤痢	腸チフス	パラチフス	腸管出血性大腸菌感染症
H17	-	-	-	-	-	-	-	5
H18	-	-	-	-	-	-	-	5
H19	-	-	-	-	-	1	-	4
H20	-	-	-	-	-	-	-	5
H21	-	-	-	-	-	-	-	4

三類感染症の発生状況推移



(3) 二類・三類感染症対策検査実施状況(結核を除く)

		医療機関からの依頼	家族及び接触者	菌陰性化検査	その他	計
実検体数		(1) 1	6	(1) 8	-	(2) 15
二類	重症急性製呼吸器症候群候群	-	-	-	-	-
	急性灰白髄炎	-	-	-	-	-
	ジフテリア	-	-	-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	-	-
	細菌性赤痢	-	-	-	-	-
	腸チフス	-	-	-	-	-
	パラチフス	-	-	-	-	-
	腸管出血性大腸菌感染症	(1) 1	6	(1) 8	-	(2) 15

()内は陽性者数を再掲(内数)

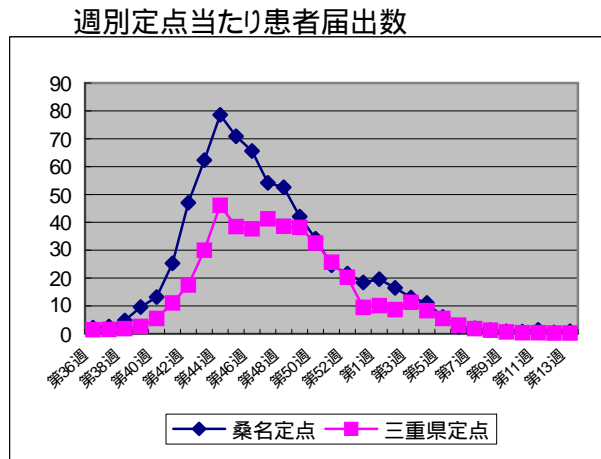
2 新型インフルエンザ対策

平成21年4月28日、WHOによって新型インフルエンザの発生が宣言され防疫体制が強化される中、5月16日神戸市で国内初の新型インフルエンザ患者が確認された。その後の感染拡大に伴い、当管内においても、6月末から7月初旬に渡航歴のある2例の新型インフルエンザ患者を確認、さらに7月中旬には集団感染事例を認める状況に至った。

(1) 管内での発生状況

ア. 定点医療機関報告 平成21年36週～平成22年13週

第36週	22	第47週	542	第5週	60
第37週	26	第48週	526	第6週	25
第38週	48	第49週	421	第7週	20
第39週	96	第50週	341	第8週	13
第40週	132	第51週	246	第9週	9
第41週	253	第52週	216	第10週	8
第42週	470	第53週	184	第11週	14
第43週	623	第1週	196	第12週	5
第44週	786	第2週	165	第13週	9
第45週	709	第3週	130		
第46週	656	第4週	111		



イ. 学校集団かぜ患者(欠席者)報告数

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
幼稚園	3 [3]	223 [184]	363 [322]	69 [50]	19 [9]	8 [8]	0 [0]	685 [576]
小学校	52 [43]	2592 [1653]	2479 [1806]	496 [394]	115 [86]	65 [51]	9 [8]	5808 [4041]
中学校	165 [96]	1955 [1191]	628 [473]	67 [58]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	2815 [1818]
高等学校	117 [117]	96 [91]	171 [162]	11 [11]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	395 [381]
その他	0 [0]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	0 [0]
合計	337 [259]	4866 [3119]	3641 [2763]	643 [513]	134 [95]	73 [59]	9 [8]	9703 [6816]

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
桑名市	312 [239]	2929 [1783]	1611 [1193]	241 [170]	80 [59]	66 [52]	9 [8]	5248 [3504]
いなべ市	3 [3]	374 [321]	781 [552]	39 [28]	7 [7]	7 [7]	0 [0]	1211 [918]
木曾岬町	0 [0]	145 [71]	109 [67]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	254 [138]
東員町	4 [2]	383 [208]	179 [136]	150 [115]	14 [10]	0 [0]	0 [0]	730 [471]
菰野町	5 [4]	652 [495]	526 [432]	141 [135]	16 [12]	0 [0]	0 [0]	1340 [1078]
朝日町	0 [0]	55 [55]	216 [210]	50 [47]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	321 [312]
川越町	13 [11]	328 [186]	219 [173]	22 [18]	17 [7]	0 [0]	0 [0]	599 [395]
合計	337 [259]	4866 [3119]	3641 [2763]	643 [513]	134 [95]	73 [59]	9 [8]	9703 [6816]

(2)活動報告

ア.インフルエンザPCR実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
行政検査	0	5	4	13	0	0	0	0	0	0	0	0	22
サーベイランス	クラスター	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	入院	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	4
	定点	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	7
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	3
計	0	5	4	13	1	1	1	3	2	3	1	3	37
(うちインフルエンザ陽性)	(0)	(1)	(1)	(13)	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	(3)	(1)	(3)	(28)
(うち新型インフルエンザ陽性)	(0)	(0)	(1)	(13)	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	(3)	(0)	(0)	(23)

イ.発熱相談センター(7/8以降インフルエンザ相談窓口)相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	12	716	447	240	121	183	418	358	94	29	6	1	2,625

ウ.発熱外来受診件数(三重県から発熱外来設置を要請した機関を計上)

医療機関名	設置期間	受診数
桑名市民病院	6/4~7/7	50〔7〕
青木記念病院	5/19~7/7	20〔12〕
いなべ総合病院	5/19~7/7	5〔1〕

〔 〕は発熱相談センター経由を再掲

エ.健康教育 開催回数: 12回〔参加人数:512人〕
 (対象内訳) 一般住民 1回〔72人〕
 事業所関係 8回〔304人〕
 市町等関係機関 3回〔136人〕

オ.関係機関会議

1)桑員地域感染症危機管理ネットワーク会議

月 日	内 容	参加団体	参加人数
平成21年4月30日	発生宣言、発熱外来・入院体制の整備	医師会、薬剤師会、市町、消防、警察	23
平成21年5月7日	現在の取り組みと対策		20
平成21年5月21日	発熱外来の設置に向けて		17
平成21年7月30日	これまでの経過と集団発生報告		18
平成21年10月29日	情報提供・情報共有		14
平成22年2月25日	振り返り・次年度事業計画		16

2)新型インフルエンザ対策連絡会議

月 日	内 容	参加団体	参加人数
平成21年7月3日	三重県の対応方針、住民への周知方法	市町、消防	13
平成21年8月28日	新型インフルエンザサーベイランス体制	市町、市町教育委員会	28

カ. 医療機関発生状況調査

目的

7月10日、新型インフルエンザ集団感染事例を認めたため、本集団感染事例における患者の発生状況、受診状況を調査し、秋冬季に向けた感染予防及び感染拡大時の対策に資する。

対象日：平成21年7月6日(月)から7月18日(土)までの受診状況

対象者

上記調査対象日に受診した患者のうち、迅速診断キットでA陽性者で、A型と診断された患者、及び迅速診断キットでA陽性者と診断された患者の濃厚接触者(家族等)であり、臨床所見からA型が疑われる患者。

方法：郵送により、桑名医師会員・いなべ医師会員へ調査用紙配付。

結果：回答率84.6%(110/130機関)。〔表1〕〔表2〕参照

考察

・23医療機関から152名の報告患者があった。うち重複患者及び調査期間外等を除く135名(15機関)を分析。

調査の結果から、今回の集団感染事例は、F小学校6年生の間で、感染暴露があり、その後、家庭・塾などでの接触により感染伝播したと考えられる。T町内学校施設においては、A型インフルエンザが発生した初期の段階で、学校閉鎖等の対策が講じられており、さらに、学校職員が児童宅に連絡を取り、健康状況の把握を行うとともに感染拡大防止についての注意事項を周知している。2日目以降には6年生での発生は急激に減少しており、土日を含め早期の学校閉鎖の効果が示唆される。

また、患者や濃厚接触者の体調確認や行動の自粛について当時は現在よりも厳密な対策が行われていた。これらの対策の結果、二次感染が小規模に止まり、地域への感染拡大が抑制されたと考えられる。F小学校には、6年生は2クラス存在するが、初発患者が確認された前日、英会話の合同授業が行われている。当日は気温が高く冷房が使用されていた。新型インフルエンザの基本再生産数 $R_0=1.4 \sim 1.6$ (WHO)と言われ麻疹や水痘ほどの感染力はないとされているが、このような条件下で、飛沫が飛散しやすい授業内容であったことが、今回6年生の爆発的な感染暴露の要因とも推察される。

一方、受診状況では、小学校の存在する団地内、若しくは近隣の小児科医に患者が集積していた。今回の報告患者の92.6%が中学生以下であったこと、患者が集中して発生した土曜日に団地内の小児科医が在宅当番であったことなどの要因が考えられた。

このように一定地域での患者の急激な増加に対する医療体制の確保として、地域全体で応援体制の整備、また、インフルエンザ患者集団発生に備えて、迅速診断キットや抗インフルエンザ薬の供給体制を検討しておくことが望まれる。

〔表1〕所属別診断日別インフルエンザ患者発生状況

施設区分 (在籍者数)	7月10日 (金)	7月11日 (土)	7月12日 (日)	7月13日 (月)	7月14日 (火)	7月15日 (水)	7月16日 (木)	7月17日 (金)	7月18日 (土)	総計
T町幼稚園										1
a (106)										
b (97)										
c (215)										
d (92)										
e (119)										
f (81)										
T町小学校			2							2
A (196)										
B (175)										
C (410)										
D (186)										
E (259)		1	3		1	1	1			6
F (212)	1	50	25	11	12	3	2		1	105
T町中学校										5
Y (367)										
Z (296)										
T町外の幼稚園					1					1
(85)										
(23)					1					1
T町外の小学校						1		2		3
(541)										
(418)										1
学校以外の所属				2	1			1		4
所属不明				2			1		1	4
総計	1	51	30	17	17	5	6	3	5	135
(%)	0.7%	37.8%	22.2%	12.6%	12.6%	3.7%	4.4%	2.2%	3.7%	100.0%

7月6日から9日に診断された報告患者は認められなかった。

午後から休校・休園
休校・休園
学年閉鎖
夏季休暇

〔表2〕

感染(推定)事例における初発患者以外の家族が発病した日までの経過日数別発病者数

家族内感染 (推定)事例	発病家族 総数(人)	初発患者以外の家族が発病した日までの経過日数別発病者数(人)							合計	
		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日		
1	5			3					1	4
2	4			1	1					3
3	3	2							1	2
4	3	1	1							2
5	3			1			1			2
6	3		2							2
7	2	1								1
8	2	1								1
9	2		1							1
10	2					1				1
11	2		1							1
12	2			1						1
13	2		1							1
14	2			1						1
15	2							1		1
16	2						1			1
合計(人)	41	5	10	4	0	3	1	2	25	
家族内感染(推定)患者総数(25人)に対する割合(%)		20	40	16	0	12	4	8	100	

(注) 初発患者が1人でその翌日以降に家族が発病した事例(16家族)を家族内感染と推定し集計した。なお、同日に複数発生し翌日以降に発生しなかった家族(5家族)は除外した。

3 エイズ対策事業

エイズに対する正しい知識の普及啓発を図るとともに、相談及び抗体検査を実施しています。

(1) エイズ対策促進事業

ア 桑名駅前キャンペーン

実施年月日	実施場所	実施者	実施内容
平成21年12月1日 7:40～8:20	桑名駅東口 ロータリー周辺	保健所職員 5名	啓発ティッシュ1,000個配布

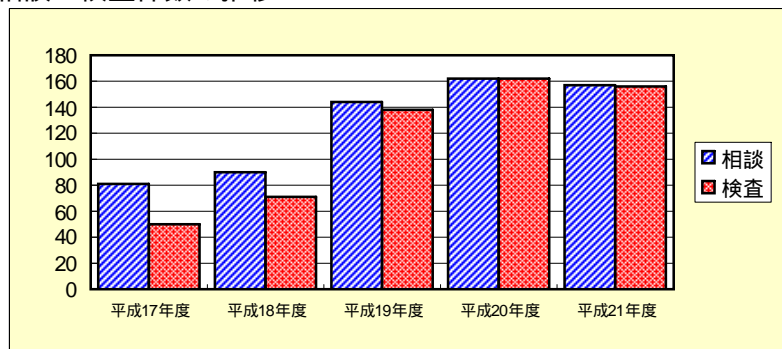
イ エイズ講演会

実施年月日・場所	対象者	参加人数	内容
平成21年10月24日 11:00～12:00 桑名市総合福祉会館	桑名地区の 勤労者	68名	講演 「HIV/AIDSについて」 講師 保健所保健師

(2) HIV抗体検査、電話相談者数

	男	女	計
エイズ相談件数	85	72	157
HIV抗体検査件数	84	72	156

相談・検査件数の推移



(レッドリボン)

(3) エイズ相談・検査実施日時

毎週火曜日 午後1時～午後2時30分

(4) 緊急肝炎ウイルス医療機関委託検査事業

	男	女	計
B型肝炎	8	12	20
C型肝炎	8	12	20

4 予防接種

予防接種法に基づき円滑に予防接種の実施ができるよう、市町、医師会等と連携を図るとともに、予防接種による健康被害に関する救済事務を行っています。

32502 感染症予防および治療体制の充実

(主担当: 保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

1. 結核患者の早期発見・早期治療のため、定期及び定期外健診・結核対策等を実施し、まん延の防止を図ります。

1 結核予防事業

平成19年4月からは感染症法2類として結核が位置づけられた。対策としては引き続き、結核が個人的にも社会的にも健康被害を及ぼすことのないよう、結核患者に対する適正な医療を普及し、確実な治療への支援に努めるとともに、地域の実情に応じた結核対策を講じ、結核予防の推進を図った。

(1) 管内結核登録患者の状況

結核患者の登録は結核対策の重要な施策の一つで、活動性分類、受療状況を調査し、患者の管理と生活指導に努めた。

ア 新登録患者数(活動性分類、性別、年齢階級別)

平成21年1月1日～平成21年12月31日

病型別 年齢区分	計		活動性結核												(別掲) 潜在性 結核感染症			
			肺結核活動性						肺外結核									
			喀痰塗抹陽性			その他結核菌陽性			菌陰性・その他			活動性			計	男	女	
計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
計	61	39	22	20	17	3	8	6	2	12	6	6	21	10	11	8	6	2
0～4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
5～9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2
10～14	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
15～19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29	3	1	2	-	-	-	1	1	-	-	-	-	2	-	2	1	1	-
30～39	9	2	7	1	1	-	2	1	1	3	-	3	3	-	3	3	3	-
40～49	2	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	1	1	1	-
50～59	6	6	-	1	1	-	-	-	-	3	3	-	2	2	-	-	-	-
60～69	7	3	4	4	2	2	-	-	-	3	1	2	-	-	-	-	-	-
70～	33	27	6	14	13	1	5	4	1	2	2	-	12	8	4	-	-	-

イ 年末現在登録者数(活動性分類、受療状況別)

平成21年12月31日現在

病型別 区分	計		活動性結核						不活動性結核	活動性不明
			肺結核活動性				肺外結核活動性			
			計	喀痰塗抹陽性	その他結核菌陽性	菌陰性・その他	計	肺外結核活動性		
計	114	26	12	6	8	19	68	1		
入院中	3	3	2	1	-	-	-	-		
外来治療中	42	23	10	5	8	19	-	-		
治療なし	69	-	-	-	-	-	68	1		
不明	-	-	-	-	-	-	-	-		

ウ 市町別結核登録患者の状況

平成21年12月31日現在

病型別 市町別	計	活動性結核					不活動性結核	活動性不明	人口10万対	
		肺結核活動性			肺外結核活動性	活動性結核の有病率				
		喀痰塗抹陽性	その他結核菌陽性	菌陰性・その他		20年			21年	
管内計	114	12	6	8	19	68	1	15.6	15.8	
桑名市	68	5	5	3	10	44	1	18.4	16.3	
いなべ市	13	4	-	1	3	5	-	10.7	17.1	
木曽岬町	1	-	-	-	-	1	-	14.9	-	
東員町	13	2	-	-	5	6	-	19.5	27.4	
菰野町	11	1	-	3	1	6	-	7.5	12.5	
朝日町	2	-	1	-	-	1	-	22.8	10.7	
川越町	6	-	-	1	-	5	-	14.7	7.2	

エ 市町別結核新登録患者の状況

平成21年1月1日～平成21年12月31日

病型別 市町別	計	活動性結核					罹患率	(別掲)潜在性結核感染症
		肺結核活動性				肺外結核活動性		
		計	喀痰塗抹陽性	その他結核菌陽性	菌陰性・その他			
管内計	61	40	20	8	12	21	21.5	8
桑名市	34	22	11	7	4	12	24.1	6
いなべ市	10	6	5	-	1	4	21.4	-
木曽岬町	-	-	-	-	-	-	-	-
東員町	9	5	3	-	2	4	35.3	2
菰野町	6	5	1	-	4	1	15.0	-
朝日町	1	1	-	1	-	-	10.7	-
川越町	1	1	-	-	1	-	7.2	-

(2) 結核検診実施状況

平成21年度

項目 対象別	予防接種				胸部エックス線撮影		喀痰検査者数	QFT検査	結核患者発見者数	
	対象者数	ツ反心検査者数	陽性者数	BCG接種者数	対象者数	受診者数				
定期	計	2,641	-	-	2,506	73,135	23,375	8	-	3
	事業者	-	-	-	-	7,551	7,524	-	-	1
	学校長	-	-	-	-	2,218	2,217	-	-	-
	施設の長	-	-	-	-	1,042	1,003	3	-	-
	市町長	2,641	-	-	2,506	62,324	12,631	5	-	2
定期外	計	/	3	-	-	/	176	-	104	-
	接触者	/	1	-	-	/	74	-	83	-
	患者家族	/	2	-	-	/	96	-	21	-
	患者管理	/	-	-	-	/	6	-	-	-

(3) 市町別一般住民結核健康診断実施状況

平成21年度

項目 市町別	住民健 診対象 者数 (A)	BCG対 象者数 (B)	BCG接 種人員 (C)	(C) / (B) %	胸部エックス線撮影			(D) / (A) %	結核 患者 発見 数 (G)	(G) / (D) %
					受診人員					
					間接撮影数	直接撮影数	計(D)			
計	62,324	2,641	2,506	94.9%	11,202	1,429	12,631	20.3%	2	0.02%
桑名市	29,729	1,261	1,208	95.8%	4,598	456	5,054	17.0%	-	-
いなべ市	10,431	438	409	93.4%	2,508	-	2,508	24.0%	-	-
木曽岬町	1,904	42	41	97.6%	458	357	815	42.8%	-	-
東員町	5,149	210	210	100.0%	1,671	-	1,671	32.5%	-	-
菰野町	9,114	341	318	93.3%	1,443	-	1,443	15.8%	2	0.14%
朝日町	3,219	169	142	84.0%	442	-	442	13.7%	-	-
川越町	2,778	180	178	98.9%	82	616	698	25.1%	-	-

(4) 感染症診査協議会における結核医療診査状況

ア 感染症法第37条申請診査件数 平成21年度

申請別 区分	計	新規申請	継続申請	解除申請
申請件数	48	19	29	22
承認件数	48	19	29	22

イ 感染症法第37条の2申請診査件数(継続申請除く)

平成21年度

区分 保険別	計	被用者保険		国保	後高	生保	その他
		本人	家族				
申請件数	77	16	8	18	33	2	-
承認件数	77	16	8	18	33	2	-

(5) 感染症診査協議会委員名簿(順不同)

平成22年4月1日現在

氏名	役職名
北川 良子	桑名市民病院 内科
笠井 寛司	笠井内科 院長
埜村 智之	いなべ総合病院 副院長
郡 なな子	桑名人権擁護委員協議会(人権擁護委員)
山口 順	三重県社会保険労務士会(社会保険労務士)

(6) 結核健康相談開催

接触者健診及び管理検診

毎月第1、3週の木曜日 午後2時30分から午後3時 受付

(7) 結核対策特別促進事業

ア 目的

居宅サービス事業所の中で、訪問介護と通所介護を実施している事業所の管理者を対象にアンケート調査を実施することにより、結核についてどのように認識され、どの程度知識を持っているかの確認を行う。そのうえで居宅サービスを実施する事業所の方に結核について正しい知識を持ち、服薬の重要性、継続治療の必要性について理解していただくことを目的とする。

イ 事業内容

- 1) 「通所介護及び訪問介護を実施する事業所管理者に対する結核に関するアンケート調査」

管内の通所介護（93ヶ所）及び訪問介護（38ヶ所）サービスを実施している事業所に対しアンケート用紙を郵送し、通所介護56事業所、訪問介護25事業所より回答を得た。

ウ 「結核患者服薬支援（DOTS）」

- 1) 医療機関とのDOTSカンファレンス

【四日市社会保険病院】 12回

検討実人数	18名（延べ33名）
地域DOTS報告人数	22名（延べ99名）
地域DOTS終了報告人数	15名

【三重中央医療センター】 1回

検討実人数	2名（延べ2名）
-------	----------

- 2) 訪問及び面接DOTS支援 対象者：4名（延べ33回）

- 3) 連絡確認DOTS支援 対象者：23名（延べ101回）

エ 成果

事業所の管理者の多くは、保健所が結核対策を行っていることを知っており、研修やインターネット等を通じて結核について学習はしているが、支援を行った事業所のうち、サービス開始にあたっては職員への感染を心配していた。また、服薬支援者として役割が期待されるDOTSについては、ほとんど普及していない実態がわかった。

このことから、結核について学んではいるが、今後も感染予防を含め、正確な情報と知識についても啓発していくこと、また、DOTS支援において介護職員に期待する部分は大きく、今後さらに普及啓発を行っていく必要がある。

DOTS支援については、入院時から本人に面接を行うことで信頼関係を築くことができ、また、定期的にDOTSカンファレンスを開催することにより、医療機関と保健所間の連携強化が図られた。

オ 今後の課題と22年度の計画

- 1) 平成21年度にアンケート調査を実施した居宅サービス事業所管理者及び職員に対して研修会等を行うことにより、結核対策の強化を図る。
- 2) 医療機関と地域との連携のもと、DOTSを推進し服薬支援体制を整備する。

< 3 > -3 健やかな暮らしを育むささえあい社会の構築

331 健康づくりの推進

33101 健康づくり活動の推進

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

1. 市町村、企業、学校、NPOならびに医師会等関係団体に対し、健康づくり活動の協働体制を確立するための働きかけを積極的に行っていきます。
2. 社会情勢に応じた地域保健活動を推進するため、地域や関係団体等の健康づくり担当者に対する研修を実施し、支援します。

1 「ヘルシーピープルそういん・21」地域・職域連携推進事業

生活習慣病の急増する中、地域保健と職域保健が連携し、健康教育、健康相談、健康診査等の保健事業による一生涯を通じた効果的・効率的な保健事業の展開が求められている。

そこで、桑島地域では、平成17年度から、住民、企業、関係団体、行政等から構成する「『ヘルシーピープルそういん・21』地域・職域連携推進協議会」を設置し、健康なまちづくり及び地域活性化を目標に、地域保健と産業保健の連携による健康づくりのネットワーク構築に取り組んできた。

(1) 地域・職域連携推進協議会

ア 第1回地域・職域連携推進協議会 平成21年8月27日(木)

平成21年度事業方針および事業計画について
講義「特定健診・特定保健指導の実施状況と課題について」
特定健診・特定保健指導についての情報交換

イ 第2回地域・職域連携推進協議会 平成22年3月11日(木)

平成21年度事業報告
平成22年度事業計画について

(2) プロジェクトチーム会議

「特定健診・特定保健指導」を活かした健康づくりを推進するために具体的な事業の企画や実施に向けてプロジェクトチームで協議を重ねた。情報交換や共有化をしていく中でメンバー間の共通認識と情報内容の充実を図るとともにネットワークを構築することができた。

ア 第1回プロジェクトチーム会議 平成21年9月24日(木)

各職場の状況について情報交換
今年度事業の取り組みについて協議

イ 第2回プロジェクトチーム会議 平成21年12月10日(木)

講義「歯周病と全身疾患との関わりについて」
口腔ケアをテーマとした具体的取組みについて協議

ウ 第3回プロジェクトチーム会議 平成22年2月25日(木)

啓発媒体の作成について
平成22年度の取組みについて協議

エ 地域・職域連携推進協議会 平成22年3月11日(木)

平成21年度事業について報告と平成22年度の取組み案の提出

(3) 出前講座・出前相談の実施

昨年度プロジェクトチームで開発した啓発媒体を活用して、メタボリックシンドロームの予防を中心とした生活習慣病予防の啓発を行った。桑名地域の住民、事業所、関係者等に対して食生活及び運動をテーマとした生活習慣改善について広く周知を図ることができた。

ア 出前相談

日時 平成21年11月7日 10:00～15:00
 協力先 社団法人 桑名法人会
 場所 桑名市民会館 展示室
 対象者 法人会会員、地域住民
 内容 「ヘルシーピープルそういん・21」健康相談
 結果 相談数 42件

イ 出前講座

月日	内容	参加者
平成21年8～12月中	元気づくり体験	12回 延べ97名
平成21年8月21日	いきいきヘルスアップ教室	18名
平成21年10月24日	いなべ市民感謝祭	約50名
平成22年1月29日	木曽岬町メタボリックシンドローム予防教室	7名

ウ 広報活動

木曽岬町広報1月1日号
 桑名市広報2月1日号 に募集記事の掲載

(4) 「特定健診・特定保健指導」等の情報提供・情報共有

「特定健診・特定保健指導」に関する情報提供や健康づくりにおける取組み課題である「口腔ケア」についての知識を深め、共通認識を得るための勉強会を実施した。

ア 講座の開催

開催日	開催場所	対象	内容
平成21年 8月27日	桑名庁舎 第一会議室	協議会委員 及びPJチーム 委員30名	講義「特定健診・特定保健指導の 実施状況と課題について」 講師：三重県国民健康保険団体連 合会 堀 健次氏

イ 勉強会の開催

開催日	開催場所	対象	内容
平成21年 12月10日	桑名庁舎 衛生教育室	PJチーム委員 及び市町関係 者10名	講義「歯周病と全身疾患との関わり について」 講師：三重県歯科医師会桑名支部 高阪 雅裕氏

(5) 啓発媒体の作成

地域・職域連携で取り組む共通のテーマ「口腔ケア」に関し、実務者が活用しやすい啓発媒体を作成した。

講座名「ポッコリからスッキリ・メタボ講座 - メタボ予防はお口から - 」

2 たばこ対策

たばこ対策について普及啓発を行うとともに、関係者が積極的に取り組んでいけるよう支援を行います。

また、地域の実情に応じた受動喫煙防止対策、禁煙支援を実施し、たばこ対策を推進します。

(1) 啓発活動

ア 「世界禁煙デー」「禁煙週間」の啓発

1) 世界禁煙デー街頭キャンペーンの実施

日時 平成21年5月29日 午前7時40分～8時20分

場所 JR東海桑名駅前ロータリー

内容 ポケットティッシュ500個 配布

2) 関係機関へ啓発グッズ(ポケットティッシュ)の配布 1000個

配布先 管内医師会、管内薬剤師会、食品衛生関係者、庁舎来庁者 等

(2) 受動喫煙防止対策

ア 「たばこの煙のないお店」認証制度

平成18年6月から県が食品衛生協会に委託を行い、県内全域で実施している「たばこの煙のないお店」認証制度により、飲食店での受動喫煙防止を啓発した。

管内認証店 50店舗(平成22年3月現在)

(3) 禁煙支援

ア ホームページで禁煙治療に保険が使える医療機関情報の公表

<http://www.pref.mie.jp/WHOKEN/HP/tabaco/tabakotaisaku.htm>

イ 健康相談・啓発の実施

開催日・場所	内容	参加者
平成22年1月24日 菰野町健康福祉センター	受動喫煙防止等啓発 たばこクイズ・禁煙相談	女性の健康フェア 来場者 約50名

33102 食環境の整備

(主担当: 保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

1. 生活習慣病予防に向け、健康的な食生活が実践できるよう、「みえの食生活指針」等による啓発、栄養に関する指導者等の人材育成などの食育推進に取り組みます。
2. 給食施設を運営する事業者や「健康づくりの店」等と協働して、健康に配慮した食の提供を行うなど、食環境の整備を進めます。
3. 市町栄養士の育成をはかるとともに、食に関するボランティアの育成とネットワークづくりを行い、地域に根ざした栄養改善活動を行います。

1 健康食育推進事業

幅広い世代を対象とした健康的な食習慣の形成にむけて、食事バランスに対する理解や「食事バランスガイド」を活用した取組等をはかり、多様な主体と協働した食育活動や県民のライフステージに応じた食環境づくりを推進します。

(1) 給食施設数及び指導状況

健康増進法第22条に基づき、特定多数人に対して継続的に食事を提供する施設の栄養改善指導を実施した。

ア 巡回指導

	特定給食施設	一般給食施設	計
施設数	111	81	192
指導施設数	34	29	63

(2) 地区組織活動支援状況

地域における食生活改善のボランティアとして活躍している食生活改善推進員の地区組織活動の円滑な運営が行われることを目的に支援を行った。

ア 食生活改善推進員研修会

開催日	開催場所	参加人員	内容
平成21年 4月2日	朝日町 保健福祉センター	朝日町食生活改善推進協議会 60名	講座 「ポッコリからスッキリ・メタボ講座」
平成21年 5月11日	四日市庁舎	四日市食生活改善推進連絡協議会 150名	講義 「新型インフルエンザ」

イ 活動支援 20回

(3) 地域活動栄養士活動支援状況

市町の栄養改善・健康づくりを市町栄養士とともに担っている地域活動栄養士に対し、資質向上のための支援を行った。

ア 研修会

開催日	開催場所	参加人員	内容
平成21年 4月15日	桑名庁舎	三重県地域活動 栄養士桑名支部 11名	講義 「新型インフルエンザ」

イ 活動支援 21回

(4) 市町栄養改善支援状況

市町栄養士の資質向上と栄養改善施策の充実を図るために業務検討や情報交換等を行うとともに必要な技術支援を行った。

ア 業務検討会

月 日：平成21年5月11日、7月6日、9月14日、11月9日、平成22年3月1日

場 所：桑名庁舎

対 象：管内市町栄養士 延べ49名

イ 技術支援

開催日	開催場所	参加人員	内容
平成21年 7月10日	朝日町 保健福祉センター	栄養教室受講者 20名	講義 「健康日本21」

(5) 栄養士職域ネットワーク研究会

住民の各ライフステージにおいて、食生活指導や栄養管理を担う管理栄養士及び栄養士の連携と資質の向上を推進し、給食施設の円滑な運営や地域の食生活上の問題を連携して取り組む地域栄養改善を展開することにより、住民の健康増進と生活習慣病予防を図ることを目的に、研究会を実施している。

ア 栄養士職域ネットワーク委員会

開催日	開催場所	参加人員	内容
平成21年 7月27日	桑名庁舎衛生教育室	委員7名	役員改選 21年度活動計画の検討
平成22年 2月19日	桑名庁舎衛生教育室	委員5名	研究会ホームページの活用について 研究会情報交換・発信の方法について

イ 情報発信

朝食欠食予防メニューのホームページでの情報発信。

<http://www.pref.mie.jp/WHOKEN/HP/eiyounw/UDtop.htm>

(6) 食事バランスガイド地域協働啓発事業

日時	事業名(協働先)	内容	対象者
平成21年 10月2日	活動交流会 (コープみえ)	啓発	約100名
11月27日 11月30日 12月9日 12月11日	調理師講習会 (調理師会)	講義(食事バランスガイド)	39名 36名 78名 33名
年間	健康づくり応援の店	巡回時の啓発	30店舗

食事バランスガイド

あなたの食事は大丈夫？

1日分	料理例
水・お茶	
5-7 主食(ごはん、パン、麺) ごはん(中盛り)だったら4杯程度	1.5分 = ごはん(中盛り)1杯、おにぎり1個、パン1枚、ロールパン2個 15分 = ごはん(中盛り)1杯、うどん1杯、お蕎麦1杯、スパゲッティ
5-6 副菜(野菜、きのこ) 野菜料理ら1皿程度	1.5分 = 野菜サラダ、きゅうり(皮むき)の輪切り、きんぴら、ほうろく、豆、きのこのスープ 2.5分 = 野菜の煮物、お味噌汁、芋の煮物、ごぼうし
3-5 主菜(肉、魚、蛋) 肉・魚・卵・大豆料理から3皿程度	1.5分 = 肉、卵、豆料理1皿、魚料理、お肉の串焼き、お肉の炊き込み 3分 = パン・ステーキ、鶏肉のしょうが焼き、鶏肉のから揚げ
2 牛乳・乳製品 牛乳だったら1本程度	1分 = 牛乳、ヨーグルト、チーズ1切れ、ソフトクリーム1個、アイス1杯 2分 = 牛乳、ヨーグルト
2 果物 みかんだったら2個程度	1分 = みかん、りんご、バナナ、葡萄、ぶどう、いちご、りんご

※SVEはサービング(食事の提供量の単位)の略

33103 こころの健康づくりの推進

(主担当: 保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

1. 県民がこころの健康づくりの重要性を認識し、自ら実践することができるようにするため、こころの健康に関する啓発をおこないます。
2. 身近なところでこころの健康づくりを支援できるよう、職域、学校、地域機関等と協働して、支援体制を整備します。

1. 自殺予防対策研修会

目的： 県民の理解と関心を高め、ひいてはお互いが支え合える環境づくりを目指す。

対象： 一般市民、三重県公衆衛生協会員（保健・福祉・医療関係者）

日時	内容	場所	受講者
平成22年 1月8日（金）	講義 「大家族・支え愛・見守り愛・励まし愛」 講師 西川 ヘレン 先生	桑名市民会館 小ホール	318名

2. 啓発活動事業

日時	内容	場所
平成21年 9月10日（木）	「自殺予防週間」街頭啓発 自殺予防週間の呼びかけ 啓発グッズの配付、のぼり掲示	JR東海桑名駅前 ロータリー近隣
平成21年 9月10日（木）～ 9月16日（水）	「自殺予防週間」のぼり掲示	保健所玄関ホール

33105 健診・相談等サービス体制の整備

(主担当: 保健衛生室 健康増進課 総務企画課)

主な取組内容

1. 壮年期からの健康づくりと生活習慣病の予防、早期発見のため、市町が実施する健康増進事業の運営支援を行います。

1. 健康増進事業

(1) 健康増進法に基づき市町が行う健康増進事業実施状況

		計	桑名市	いなべ市	木曾岬町	東員町	菰野町	朝日町	川越町
新規健康手帳 交付数	75歳以上 (人)	260	30	135	0	0	9	23	63
	40~74歳 (人)	5,335	3,330	955	50	0	536	227	237
健康教育 指導	個別開始 (人)	0	0	0	0	0	0	0	0
	集団 (回)	200	69	83	22	9	3	14	0
健康相談 開催回数	重点 (回)	594	0	0	37	0	508	36	13
	総合 (回)	458	237	7	16	5	153	25	15
健康診査	受診人員 (人)	60	29	5	1	0	3	4	18
歯周疾患検 診	受診人員 (人)	0	0	0	0	0	0	0	0
骨粗鬆検診	受診人員 (人)	520	152	82	0	152	77	37	20
機能訓 練	実施回数 (回)	118	97	0	21	0	0	0	0
	訓練実施延人員 (人)	324	190	0	134	0	0	0	0
訪問指導延人数 (人)		297	14	1	64	0	68	42	108

衛生行政報告例から

332 子育て環境の整備
33201 保育・放課後児童対策等の充実

(主担当: 福祉相談室 福祉課)

主な取組内容

1. 児童が心身ともに健やかに生まれ、健やかな成長、発達が保障されるように、児童福祉の増進が図られています。

1. 児童福祉

(1) 保育所

桑員・三四地域全体の入所率は95.3%で、年齢構成では、4歳児以上が48.8%を占め、3歳児25.1%、1～2歳児24.1%、0歳児2.0%となっている。

平成22年4月1日現在

市町名	施設数 箇所	定員	入所 児童数	(年齢別内訳)				学齢前 児童数	整備率 (%)
				0歳	1～2歳	3歳	4歳以上		
計	110	10,640	10,135	206	2,442	2,546	4,941	36,113	29.5%
桑名市	26	2,670	2623	53	634	723	1,213	7,682	34.8%
いなべ市	15	1,480	1379	9	210	394	766	2,364	62.6%
木曽岬町	2	130	107	0	28	27	52	295	44.1%
東員町	6	370	284	6	77	65	136	1,260	29.4%
菰野町	7	930	830	12	183	197	438	2,247	41.4%
朝日町	1	200	203	4	60	49	90	1,174	17.0%
川越町	4	380	304	9	95	66	134	988	38.5%
四日市市	49	4,480	4,405	113	1,155	1,025	2,112	20,103	22.3%

整備率 = 保育所定員 / 学齢前児童数

(2) 管内の児童福祉施設（保育所を除く）の状況

平成22年4月1日現在

施設の種別	施設名	市町名	定員
助産施設	いなべ総合病院	いなべ市	1
母子生活支援施設	桑名山崎苑	桑名市	12
児童養護施設	エスペランス桑名	桑名市	30
児童デイサービス事業所	桑名市療育センター	桑名市	30
児童館	いなべ市大安丹生川上児童館	いなべ市	
	いなべ市大安梅戸北児童館	いなべ市	
	いなべ市大安中央児童センター	いなべ市	
	桑名市深谷児童センター	桑名市	
	桑名市深谷北児童センター	桑名市	
	大型児童センター光のホール	桑名市	
	朝日町児童館	朝日町	
	川越町つばめ児童館	川越町	
助産施設	三重県立総合医療センター	四日市市	34
乳児院	エスペランス四日市	四日市市	25
母子生活支援施設	菜の花苑	四日市市	30
児童養護施設	エスペランス四日市	四日市市	61
知的障害児施設	聖母の家	四日市市	65
知的障害児通園施設	あけぼの学園	四日市市	50
児童デイサービス事業所	児童デイサービス事業所 四日市市立あけぼの学園	四日市市	20
児童館	四日市市児童館 (北部・橋北・塩浜・こどもの家)	四日市市	

33203 母子保健対策の推進

(主担当: 保健衛生室 地域保健課)

主な取組内容

1. 未熟児を対象とした養育医療等を必要とする乳児に対して経費の負担等を行うことで、適切な医療が受けられるよう支援を行います。
2. 妊娠から出産、乳幼児期にいたるまで専門的な育児支援を行います。
3. ハイリスク児の養育支援や市支援等を行うことで、虐待予防に視点をおいた機能強化に努めます。

1. 母子保健対策事業

(1) 未熟児訪問事業

未熟児とは、身体の発達が未発達のまま出生した乳児であって、正常児に有する諸機能を得るに至るまでの乳児であるため、病気にかかりやすく、死亡のリスクもあり、また障害等のリスクもあることから、保健師による訪問指導を行いました。

	実人員	延人員
平成19年度	67	78
平成20年度	50	73
平成21年度	22	26

出生体重 2,000g以下・養育医療申請児・新生児届出はがきの訪問希望等について優先的対象ととらえ支援に取り組んだ。

2,000g以下乳児は51人で、2,500g未満の乳児(233人)の21.9%となっている。この乳児に対し、転出2人、死亡4人を除き、保健所職員が15人、市町職員が29人の計44人に対する支援を行った。

(2) 健やか親子支援事業

ア 事業の目的

心身の発達に問題を抱える子ども及び養育問題を持つ保護者とその子どもに対して、必要とする支援内容を明確にし、状況に応じた適切な助言・指導を行い、養育問題の負担軽減を図る。また、関係機関との調整を図ることにより、地域で安心して生活できるよう支援を行った。

イ 実施内容

1) 面接相談

小児慢性特定疾患等の医療費給付申請時に面接を行い、家族の抱える問題点の把握を行った。相談は長期療養児や手術が必要な児の保護者からが多く、特に小児慢性特定疾患や育成医療等の医療費の補助に関する内容のものが多かった。

2) 家庭訪問

未熟児訪問について、管内市町や医療機関等の関係機関と連携しながら行った。

継続的な個別フォローが必要であるケースへの支援については、児の発育・発達に問題のある場合のみならず、母親への育児支援が重要であることから、母親が地域で孤立しないよう、必要な時に必要なところへ相談できるような支援を行った。

	妊産婦	未熟児	新生児・乳児 (未熟児除く)	幼児
実件数	6	22	3	1
延件数	8	26	3	1

3) 研修会・関係機関連絡会議

内 容	対 象	開催回数	参加人数
(虐待予防)連絡調整・ネットワーク会議	虐待防止事業担当者、学校関係者、医療関係者、保健福祉関係者等	18回	延べ 457人
(母子保健体制の整備)乳幼児健診検討委員会	小児科医師、産婦人科医師、病院MSW、保健師等	8回	延べ 114人
(母子保健体制の整備)管内母子担当者会議	産婦人科医師、保健師、理学療法士等	5回	延べ 53人

ウ 考察及び課題

家族機能の低下や育児不安の問題が深刻化している中、母子保健分野ではハイリスクケース支援を通して虐待予防に寄与することが求められている。

早期発見・早期支援を目的に、妊娠中もしくは出産直後の早い段階で関係機関からの情報提供を受け、直ちに支援ができる体制が整っていることが望ましい。

このような体制づくりについて、年5回開催している管内母子担当者会議にて、産婦人科医師よりご指導をいただきながら検討を行ってきた。管内では、乳幼児健診委員会が年8回開催されている。地域と医療機関のつながりを持つことは桑名管内の強みであり、来年度も先生方にご協力いただけるよう働きかけを行っていく。

2. 母子医療対策事業

(1) 育成医療

身体障がい児にとっては、早期発見・早期治療はきわめて重要である。このため、障害者自立支援法第52条により、18歳未満の児童で、このまま放置すれば将来日常生活にかなりの支障を残すと見られる障がいを有しており、手術をすることで確実な治療効果の期待できるものに対し、医療給付を行った。

平成21年度

	総計	肢体不自由	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声言語機能障害	先天性心臓障害	腎臓障害	その他の内臓障害	免疫機能障害	小腸機能障害
給付件数	141	22	16	8	50	22	0	22	0	1
桑名市	68	11	8	3	21	14	0	10	0	1
いなべ市	23	4	2	1	8	4	0	4	0	0
木曽岬町	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
東員町	18	0	1	1	10	1	0	5	0	0
菰野町	17	3	1	2	7	2	0	2	0	0
朝日町	5	2	1	0	1	1	0	0	0	0
川越町	9	2	2	1	3	0	0	1	0	0

(2) 養育医療

身体の発育が未熟のまま出生し、正常児が出生時に有する諸機能を得るに至っていないため、入院養育が必要と認められる1歳未満の乳児に対し、母子保健法第20条による医療給付を行った。

平成21年度

	計	桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町	菰野町	朝日町	川越町
承認件数	72	46	13	0	2	2	4	5

(3) 小児慢性特定疾患治療研究事業

小児慢性疾患のうち特定疾患については、治療が長期にわたるため、医療費の負担が高額となる。

これを放置することは、児童の健全な育成を阻害することとなるため、小児慢性特定疾患の治療研究事業を行い、もってその研究を推進し、その医療の確立と普及を図り、併せて患者家庭の医療費の負担軽減を図った。

(平成22年3月31日現在)

	計	悪性 新生 物	慢性 腎疾 患	慢性 呼吸 器疾 患	慢性 心疾 患	内分 泌疾 患	膠原 病	糖尿 病	先天性 代謝異常	血友病等 血液疾患	神経・筋 疾患	慢性 消化 器疾 患
給付件数	493	70	42	11	67	194	13	19	20	15	21	21
桑名市	162	18	11	5	19	79	2	5	7	5	5	6
いなべ市	40	9	7	2	5	13	0	1	0	2	1	0
木曽岬町	5	0	0	0	0	2	2	0	1	0	0	0
東員町	23	5	1	1	3	8	1	1	0	0	1	2
菰野町	28	6	3	0	4	14	0	0	0	0	0	1
朝日町	4	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0
川越町	14	0	0	0	1	9	1	0	1	2	0	0
四日市市	217	31	20	3	34	68	7	12	11	6	13	12

(4) 特定不妊治療費助成事業

不妊治療のうち、体外受精及び顕微受精（以下「特定不妊治療」という。）については、1回の治療費が高額であり、経済的負担が重いことから、十分な治療が受けられず、望んでいるにも関わらず子どもに恵まれない方も少なくない。このことにより、平成16年度から特定不妊治療に要する費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図っている。

平成21年度

	計	桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町	菰野町	朝日町	川越町
助成件数	256	146	22	3	16	31	26	12

3 母体保護事業

母体の生命健康を保護することを目的とする母体保護法に基づき届出が行なわれます。

(1) 人口妊娠中絶

(年齢別・在胎週別届出数・平成21年度分)

年齢 在胎週	総数	15歳 未満	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20～ 24	25～ 29	30～ 34	35～ 39	40～ 44	45～ 49	50歳 以上	不詳
総数	966	2	4	12	17	13	42	195	190	189	203	88	9	2	0
満7週以前	610	1	1	5	4	8	23	121	133	121	126	64	3	0	0
8週～11週	298	0	3	5	10	3	18	64	44	58	67	19	5	2	0
12週～15週	27	1	0	0	2	0	1	5	6	5	4	2	1	0	0
16週～19週	21	0	0	0	1	1	0	3	5	5	4	2	0	0	0
20週～21週	8	0	0	1	0	0	0	2	2	0	2	1	0	0	0
不詳	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

衛生行政報告例から

(2) 不妊手術届出数

(平成21年度分)

区分		年齢	総数	20歳 未満	20～ 24	25～ 29	30～ 34	35～ 39	40～ 44	45～ 49	50歳 以上	不詳
女	第3 条該 当	第1号該当	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
		第2号該当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計		1	0	0	0	1	0	0	0	0	0

衛生行政報告例から

33205 児童と一人親家庭の自立の支援

(主担当: 福祉相談室 福祉課)

主な取組内容

- 母子及び寡婦福祉資金貸付金や母子家庭自立支援給付金事業により母子家庭等の自立の助長を図ります。

1. 母子福祉事業

(1) 母子及び寡婦福祉資金の貸付

母子家庭及び寡婦に対し、経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、併せて、扶養している児童の福祉を増進するための資金の貸付を行った。

(単位: 件、千円)

資金名	郡 部		四日市市		桑名市		いなべ市		計			
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
母子福祉資金貸付	20年度	6	8,186	55	62,300	12	15,018	1	1,155	74	86,659	
	21年度	6	11,724	87	104,400	9	7,271	2	2,708	104	126,103	
	内 訳	事業開始			2	3,430					2	3,430
		事業継続										
		修学	3	10,548	33	67,605	4	5,990	1	2,448	41	86,591
		就職支度										
		生活			12	15,840	2	459			14	16,299
		住宅										
		転宅	1	260	5	1,340			1	260	7	1,860
		医療介護										
		就学支度	2	916	27	11,172	2	483			31	12,571
		結婚										
		修業			2	700	1	339			3	1,039
		技能習得			6	4,313					6	4,313
		児童扶養										
寡婦福祉資金貸付	20年度			1	2,106	-	-	-	-	1	2,106	
	21年度			1	260	2	2,440			3	2,700	
	内 訳	事業開始										
		事業継続										
		修学					1	2,160			1	2,160
		就職支度										
		生活										
		住宅										
		転宅			1	260					1	260
		医療介護										
		就学支度					1	280			1	280
		結婚										
		修業										
技能習得												

333 地域とともに進める福祉社会づくり
33301 地域福祉活動の推進

(主担当: 福祉相談室 福祉課)

主な取組内容

1. 住民の身近なところで福祉サービスを必要とする人の立場に立って相談・支援を行う民生委員・児童委員の活動を促進するため、適正な配置を確保するとともに、資質向上のための研修を行います。

1 民生委員・児童委員等配置状況

(1) 民生委員・児童委員数

平成22年4月1日現在

	民生委員・児童委員		主任児童委員(再掲)	
	定数	配置数	定数	配置数
合計	1,104	1,104	100	100
桑名市	246	246	23	23
いなべ市	100	100	8	8
木曽岬町	13	13	2	2
東員町	51	51	4	4
菰野町	75	75	5	5
朝日町	15	15	2	2
川越町	25	25	2	2
四日市市	579	579	54	54

(2) 身体障がい者、知的障がい者相談員数

平成22年4月1日現在

	計	身体障がい者相談員	知的障がい者相談員
合計	37	21	16
桑名市	8	4	4
いなべ市	4	3	1
東員町	1		1
木曽岬町	1	1	
菰野町	3	2	1
朝日町	0		
川越町	1		1
四日市市	19	11	8

2 社会福祉施設等

(1) 社会福祉施設等の状況

平成22年4月1日現在(単位:ヶ所)

設置区分	市 町 名		合計	桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町	菰野町	朝日町	川越町	四日市市	県計
	設置種別											
生活保護施設	救護施設		2					2				3
児童福祉施設	助産施設		2		1						1	12
	乳児院		1								1	2
	母子生活支援施設		2	1							1	5
	児童養護施設		2	1							1	11
	知的障害児施設		1								1	5
	知的障害児通園施設		1								1	1
	進行性筋萎縮症児療育委託施設		0									2
	重症心身障害児委託施設		0									2
	児童館		12	3	3				1	1	4	47
	保育所		110	26	15	2	6	7	1	4	49	433
	児童遊園		0									11
	児童デイサービス事業所		2	1							1	14
老人福祉施設	養護老人ホーム		4	1	1			1			1	21
	特別養護老人ホーム		23	4	2	1	1	2	1		12	108
	軽費老人ホーム		2								2	5
	老人福祉センター		10	5	2					1	2	33
	有料老人ホーム		24	4	2		4		1		13	48
	グループホーム		32	12	3		2	3	1	3	8	130
	認知症疾患医療センター		1				1					3
	老人介護支援センター		25								25	114
	介護老人保健施設		18	6	1	1		3		1	6	61
ケアハウス		7				1	1		1	4	29	

設置区分	市 町 名	合計	桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町	菰野町	朝日町	川越町	四日市市	県計
	設置種別										
障がい者福祉施設	指定生活介護事業所	21	3	2		1	2		1	12	87
	指定就労移行支援事業所	7	1							6	14
	指定就労継続支援(A型)事業所	2								2	5
	指定就労継続支援(B型)事業所	20	6	1	1		2			10	97
	指定生活訓練事業所	1								1	6
	指定施設入所支援事業所	4					2			2	26
	指定相談支援事業所	6		2						4	23
	グループホーム・ケアホーム	19	2	4		4	1			8	77
	自閉症・発達障害支援センター	1					1				2
	障害者就業・生活支援センター	2	1							1	7
	障害者小規模作業所	5					1	1	1	2	30
	旧身体障害者療護施設	1								1	2
	旧身体障害者授産施設	1								1	3
	旧知的障害者更生施設	3	1							2	14
	旧知的障害者授産施設(通所)	11	3	3		1	1			3	11
	旧知的障害者通勤寮	1								1	2
	旧知的障害者小規模通所授産施設	1	1								1
	旧精神障害者生活訓練施設	2		1						1	3
	旧精神障害者通所授産施設	1								1	1
	旧精神障害者福祉ホームB型	1				1					2

<3>-4 安心を支える医療・福祉の推進

341 医療提供体制の整備

34101 患者本位の医療の推進

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

1. 地域医療提供体制の整備を図るため、日常の健康管理や適切な初期診療などを身近なところで提供するかかりつけ医の推進を図ります。

1 医務

管内における医療施設及び医療関係者の状況は次のとおりです。

医療法等関係法令に基づき、管内医療機関等の開設、変更・廃止等の事務手続きを行い、必要に応じて立入検査を実施し、構造設備等法令基準の適合について指導を行った。

(1) 市町別医療関係施設数

平成22年3月31日現在

区分 市町名	病院		一般診療所		歯科 診療所	助産所 (無床)	施術所	歯科技 工所
	一般	精神	有床	無床				
管内 計	16	4	17	155	112	7	194	39
桑名市	10	1	11	84	60	3	104	22
いなべ市	3	1	-	24	19	2	31	10
木曽岬町	-	-	1	2	2	-	3	-
東員町	-	2	-	14	9	-	13	4
菰野町	3	-	-	21	12	1	30	3
朝日町	-	-	1	6	4	-	10	-
川越町	-	-	4	4	6	1	3	-

(2) 病床数(病院、診療所)

平成22年3月31日現在

区分	病 院						一般診療 所病床 (療養病床再掲)	率(人口10万対)	
	総数	精神病床	感染症 床	結核病 床	一般病床	療養病床		病院	一般診 療所
管内	2,948	901	0	0	1,350	697	(54) 247	1,042.7	87.4
桑名市	1,559	236	-	-	833	490	(42) 175	1,103.5	123.9
いなべ市	605	176	-	-	326	103	-	1,290.2	-
木曽岬町	0	-	-	-	-	-	19	0.0	283.7
東員町	489	489	-	-	-	-	-	1,909.9	-
菰野町	295	-	-	-	191	104	-	740.8	-
朝日町	0	-	-	-	-	-	9	0.0	102.5
川越町	0	-	-	-	-	-	(12) 44	0.0	322.4
三重県	20,872	4,826	20	60	11,548	4,418	1,846	1,116.3	98.7

(3) 医療関係者数

平成20年12月31日現在

	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師	歯科衛生士	歯科技工士
管内	392	146	444	89	36	1,524	896	68	186
桑名市	218	84	269	35	19	782	464	38	97
いなべ市	78	18	100	18	11	342	159	12	23
木曽岬町	4	2	1	5	0	14	9	1	2
東員町	29	9	25	4	0	124	109	4	24
菰野町	47	21	40	13	4	235	119	12	31
朝日町	7	3	1	7	0	13	12	0	1
川越町	9	9	8	7	2	14	24	1	8

2年ごとに調査されます医師、歯科医師、薬剤師については登録者の届出数（住所地別）、保健師、助産師、看護師、准看護師、歯科技工士、歯科衛生士については就業届出数です。

(4) 医療監視状況

医療法等の関係法令に基づき、桑名保健福祉事務所管内の病院及び診療所に立ち入り、法令等に規定された人員の配置や構造設備に関する検査を行い、適正且つ良質な医療を確保するための指導助言を行いました。

平成21年度

		全施設数	立入検査実施数	実施率
病院		20	20	100.0%
診療所	医科	170	55	32.4%
	歯科	110	25	22.7%

診療所の立入検査については、5年で一巡するよう20%以上の実施率を目標にしています。全施設数は、平成21年4月1日現在です。

34103 救急・へき地医療体制の整備

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

1. 地域住民の救急医療を確保するため、管内の一次救急、二次救急および救命救急医療体制の整備を行います。
2. 救急告示医療機関との連携を図ります。

1 地域救急医療対策事業

(1) 救急医療対策協議会

	開催日	開催場所	出席数	主な協議内容
第1回	平成22年3月11日	衛生教育室	17名	新型インフルエンザにおける混乱と課題 桑員地域災害医療対策部会の設置について

(2) メディカルコントロール協議会

	開催日	開催場所	出席数	主な協議内容
第1回	平成21年8月20日	衛生教育室	10名	自己注射が可能なアドレナリン製剤投与講習会
第2回	平成22年3月11日	衛生教育室	10名	心肺機能停止対応業務プロトコル 救命救急士再教育にかかる単位取得制度

(3) 感染症危機管理ネットワーク会議

	開催日	開催場所	出席数	主な内容
第1回	平成21年4月30日	第1会議室	23名	新型インフルエンザ 発生宣言、発熱外来・入院体制の整備
第2回	平成21年5月7日	衛生教育室	20名	新型インフルエンザ 現在の取り組みと対策
第3回	平成21年5月21日	1階会議室	17名	新型インフルエンザ 発熱外来の設置に向けて
第4回	平成21年7月30日	衛生教育室	18名	新型インフルエンザ これまでの経過と集団発生報告
第5回	平成21年10月29日	衛生教育室	14名	新型インフルエンザ 各所属からの情報提供・情報共有
第6回	平成22年2月25日	衛生教育室	16名	新型インフルエンザ 振り返りと次年度事業計画

2 救急告示医療機関

救急告示医療機関は、地域における救急業務の対象となる傷病者の発生状況等を勘案して認定しています。

(1) 管内救急告示病院・診療所

(平成22年3月31日現在)

名称	郵便番号	住所	電話番号
桑名市民病院	511-0819	桑名市北別所416-1	0594-22-7111
山本総合病院	511-0061	桑名市寿町3丁目11	0594-22-1211
医療法人桑名病院	511-0063	桑名市京橋町30	0594-22-0460
桑名市民病院分院	511-0068	桑名市中央町1丁目32番地1	0594-22-0650
ヨナ八総合病院	511-0838	桑名市和泉8丁目264-3	0594-23-2415
大桑病院	511-0101	桑名市多度町柚井字境川132	0594-48-5311
医療法人(社団)大和会 日下病院	511-0428	いなべ市北勢町阿下喜680	0594-72-2511
青木記念病院	511-0068	桑名市中央町5丁目7	0594-22-1711
医療法人誠会 山崎病院	511-0836	桑名市江場1365	0594-22-0983
森栄病院	511-0038	桑名市内堀28番地1	0594-23-0452
いなべ総合病院	511-0428	いなべ市北勢町阿下喜771	0594-72-2000
菰野厚生病院	510-1234	三重郡菰野町大字福村75	059-393-1212
四日市消化器病センター	510-1232	三重郡菰野町宿野神明田432	059-393-2300
青木内科	511-0863	桑名市新西方2丁目82	0594-22-1111
小畑整形外科	510-8122	三重郡川越町豊田432	059-365-0765

34105 骨髄バンク、臓器移植等の推進

(主担当: 保健衛生室 衛生指導課、健康増進課)

主な取組内容

1. 骨髄移植や骨髄バンク制度について普及啓発するとともに、骨髄提供希望者の登録活動を推進します。
2. 県民の臓器移植に対する理解と協力を求めるため、啓発事業を行うとともに、三重県角膜・腎臓バンク協会の活動を支援します。

1 骨髄バンク

白血病や再生不良性貧血など血液難病の患者にとって、生への希望である骨髄バンク事業が円滑に実施されるよう骨髄移植に関する正しい知識の普及啓発を行うとともに、ドナー（骨髄提供希望者）の登録受付を実施した。

(1) 骨髄提供登録受付窓口業務

毎週火曜日9:30～11:00に登録受付を実施し、平成21年度は13人の登録者がありました。

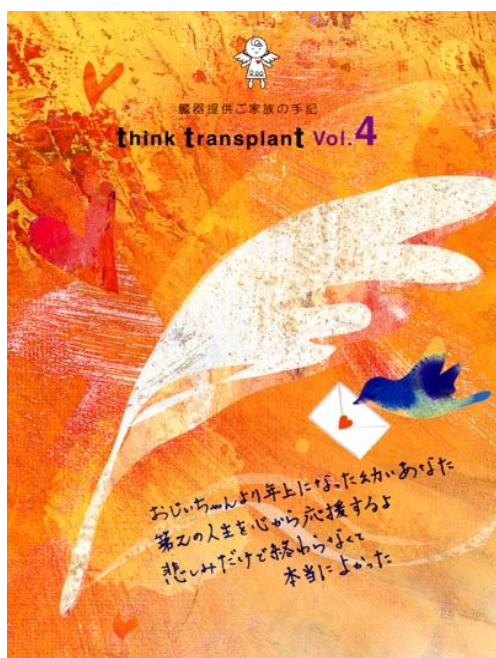
2 臓器移植啓発事業

臓器提供に関する正しい知識の普及啓発を行い、臓器提供意思表示カードの推進を図っています。

(1) 臓器提供意思表示カード配布窓口業務

桑名保健福祉事務所の窓口において、「臓器提供ご家族の手記」リーフレットの掲示・配布と臓器提供意思表示カードの掲示・配布を行っています。

「臓器提供ご家族の手記リーフレット」



「臓器提供意思表示カード」



34106 難病患者等の支援

(主担当:保健衛生室 地域保健課、総務企画課、健康増進課)

主な取組内容

- 1 難病患者及び原爆被爆者への医療費助成や福祉サービスの支援を行います。
- 2 難病相談支援センター事業を難病患者団体との協働で進め、生活相談・療養相談等を行うことにより、難病患者とその家族のQOL(生活の質)の向上を図ります。
- 3 重症難病患者とその家族が、安心して在宅療養生活を送ることができるよう支援します。

1 原子爆弾被爆者対策事業

原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づき、原子爆弾が投下された際、広島市、長崎市とこれに隣接する区域内にあった者、その他身体に放射能の影響を受けるような事情下にあった者、当時その者の胎児であった者について年2回の定期健康診断を実施し、被爆者の健康管理に努めた。

(1) 原爆被爆者健康診断実施状況

	第1回(21.5.1～21.5.31)	第2回(21.11.1～21.11.30)
対象者	218 (155)	211 (151)
受診者数	113 (78)	91 (69)

()内 四日市市・三重郡を再掲

(2) がん検診受診者数

(平成21年度)

	胃がん	肺がん	乳がん	子宮がん	多発性骨髄腫	大腸がん
受診者数	(6) 10	(20) 27	(0) 3	(1) 3	(36) 43	(20) 25

(3) 各種手当受給状況

平成22年3月31日現在

	医療特別手当	特別手当	小頭症手当	健康管理手当	保健手当	家族介護手当	葬祭料
支給対象者数	(4) 6	(1) 1	(0) 0	(155) 162	(4) 8	(0) 0	(5) 10

葬祭料については、21年度中件数

2 ハンセン病患者等支援事業

「ハンセン病を正しく理解する週間」 平成21年6月21日～6月27日
ホームページ及び庁舎ロビーにおいて書籍の展示等による啓発に取り組みました

3 難病在宅ケア事業

事業の目的

難病患者の在宅ケアには、包括的な支援体制が必要である。そのため患者・家族の療養上の不安の軽減を図るとともに、療養者が地域で安心して暮らせるように関係機関との連携のもとに在宅ケア支援体制を整備する。

事業の内容

(1) 在宅療養支援計画策定・評価事業

個別の状況に応じた適切な支援体制の整備と関係者間の連携を図るため、ケア会議を開催し、在宅療養支援計画の策定・評価を行った。

ケア会議	内 容	出席者	場所
事例 1	「在宅療養生活の支援について」 ・現状と問題点の整理 ・各関係者・家族の支援目標共有 ・今後の方向性の検討 等	患者・家族 各デイサービス センター看護師 ・指導員・介 護士、市町福祉 担当者、保健師 等 計9名	患者宅
事例 2	「在宅療養生活を支援するにあたり」 ・発熱時の対応 ・日常生活上の観察点について ・そりかえりへの対応 ・排泄時の支援 ・水分摂取について 等	主治医、各デイ サービスセン ター介護士・指 導員・看護師、 訪問看護師、市 町福祉担当者、 保健師 等 計8名	診療所

(2) 医療相談事業

難病患者・家族の療養上の不安軽減を図るため専門医等による医療相談を行った。神経内科系疾患については医療講演会を実施した。

また、整形外科系疾患、消化器系疾患については専門医等の講演会を交えた相談会として実施した。

ア 神経難病医療講演会

実施年月日：平成21年10月22日(木)

対象者：特定疾患受給者

多発性硬化症、重症筋無力症、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変症、
パーキンソン病関連疾患、多系統萎縮症

内 容：医療講演会及び相談

菰野厚生病院 神経内科医

参加状況：合計 39名

うち患者23名 家族15名 関係機関 1名

イ 整形難病医療相談会（四日市市保健所・鈴鹿保健福祉事務所と合同）

実施年月日：平成21年10月21日（水）

対象者：特定疾患受給者

後縦靭帯骨化症、特発性大腿骨骨頭壊死症、広範性脊柱管狭窄症

内容：講演会と質疑応答

四日市社会保険病院 整形外科医

参加状況：合計 42名

うち桑名管内 患者6名 家族3名 関係機関2名 計11名

ウ IBD医療相談会（四日市市保健所・鈴鹿保健福祉事務所と合同）

実施年月日：平成21年11月17日（火）

対象者：特定疾患受給者

潰瘍性大腸炎、クローン病

内容：講演会と質疑応答

四日市社会保険病院 外科医長

四日市社会保険病院 管理栄養士

参加状況：合計 54名

うち桑名管内 患者12名 家族8名 計20名

（3）訪問相談

多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症等の神経難病重症患者を中心に訪問を実施した。

訪問実人員 5人、延べ13件

面接・電話相談等 延べ89件

（4）難病相談支援センター事業への協力

実施年月日：平成21年7月5日（日）

実施場所：くわなメディアライヴ

内容：地域難病相談会（桑名会場）

参加状況：計76名

4 特定疾患治療研究事業

いわゆる難病のうち特定疾患は治療がきわめて困難であり、長期の療養を要し、かつ、その医療費も高額であるため、これらの患者の自己負担を軽減し、治療の促進を図ることを目的として医療給付を行っている。

特定疾患医療受給者数

平成22年3月31日現在

疾患別	市町	総数	内 訳									
			桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町	菰野町	朝日町	川越町	四日市市		
平成21年度		(485) 3,377	(113) 755	(34) 250	(2) 34	(21) 148	(25) 219	(5) 33	(10) 68	(275) 1,870		
1	ベーチェット病	(4) 71	(1) 13		11	0	2	7	0	1	(3) 37	
2	多発性硬化症	(7) 77		6	1	(1) 7	(1) 5		0	1	(5) 41	
3	重症筋無力症	(9) 62	(1) 15	(1) 4		3	(4) 5		6	0	(3) 29	
4	全身性エリテマトーデス	(16) 238	(2) 55	(1) 17		2	(1) 11	(1) 14		2	(11) 135	
5	スモン	(1) 9		1	0	0	0	0	0	0	(1) 8	
6	再生不良性貧血	(7) 46	(1) 15		5	0	(1) 2		4	0	(5) 20	
7	サルコイドーシス	(10) 83	(2) 13	(1) 7		0	4	(1) 2		1	(6) 54	
8	筋萎縮性側索硬化症	(7) 38	(3) 5		2	0	(1) 3		1	0	(3) 27	
9	強皮症、皮膚筋炎又は多発性筋炎	(23) 282	(2) 46	(2) 15		2	(4) 12		24	3	(2) 11	(15) 169
10	特発性血小板減少性紫斑病	(23) 136	(5) 28	(2) 13		1	(1) 2	(3) 11		3	(12) 78	
11	結節性動脈周囲炎	(19) 43	(7) 16		0	0	1	(1) 2	(1) 1	1	(10) 22	
12	潰瘍性大腸炎	(95) 632	(21) 163	(9) 43		10	(2) 37	(7) 44	(1) 9	(1) 11	(54) 315	
13	大動脈炎症候群	(1) 18		5	0	0	1	4	0	0	(1) 8	
14	ピュルガー病		21	4	1	1	0	2	1	0	12	
15	天疱瘡	(1) 26	(1) 14		2	1	1	0	0	1	7	
16	脊髄小脳変性症	(9) 90	(3) 20	(1) 6		0	6	5	1	(1) 2	(4) 50	
17	クローン病	(15) 161	(2) 38	(1) 10		0	2	16	(1) 4		(11) 89	
18	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	(1) 1	(1) 1		0	0	0	0	0	0	0	
19	悪性関節リウマチ	(1) 26		8	2	0	1	1	0	1	(1) 13	
20	パーキンソン病関連疾患	(87) 489	(25) 118	(4) 33	(1) 3	(2) 12	(5) 27		1	(3) 15	(47) 280	
21	アミロイドーシス	(4) 6	(1) 2	(1) 1		0	0	0	0	(1) 1	(1) 2	
22	後縦靭帯骨化症	(35) 161	(9) 34	(2) 21		1	(1) 8	(1) 7	(1) 1	(2) 4	(19) 85	

特定疾患医療受給者数

平成22年3月31日現在

疾患別	市町	総数	内 訳							
			桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町	菰野町	朝日町	川越町	四日市市
23	ハンチントン病	5	3	0	0	0	0	0	0	2
24	モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）	(6) 58	(3) 15	0	2	4	4	0	0	(3) 33
25	ウェゲナー肉芽腫症	5	0	1	0	1	0	0	0	3
26	特発性拡張型（うっ血型）心筋症	(7) 139	10	(1) 12	0	6	6	1	4	(6) 100
27	多系統萎縮症	(7) 61	(1) 12	8	(1) 1	4	4	1	1	(5) 30
28	表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型）	2	0	0	0	0	0	0	0	2
29	膿疱性乾癬	(1) 9	0	1	0	1	1	0	0	(1) 6
30	広範脊柱管狭窄症	12	4	3	0	1	1	0	0	3
31	原発性胆汁性肝硬変	(4) 107	(1) 20	3	2	2	6	2	5	(3) 67
32	重症急性膵炎	(3) 1	0	0	0	0	0	0	0	(3) 1
33	特発性大腿骨骨頭壊死症	(5) 45	(2) 13	1	0	1	0	1	1	(3) 28
34	混合性結合組織病	(2) 32	(1) 5	3	1	2	2	0	0	(1) 19
35	原発性免疫不全症候群	2	0	0	0	0	0	0	0	2
36	特発性間質性肺炎	(9) 15	(3) 5	0	0	0	0	0	0	(6) 10
37	網膜色素変性症	(5) 76	(1) 22	(3) 11	3	5	7	0	1	(1) 27
38	プリオン病	(2) 2	0	0	0	(1) 1	0	0	0	(1) 1
39	原発性肺高血圧症	(1) 7	1	0	0	0	0	0	0	(1) 6
40	神経線維腫症	(1) 11	0	0	0	0	1	0	0	(1) 10
41	亜急性硬化性全脳炎	1	0	0	0	0	0	0	1	0
42	バット・キアリ症候群	2	1	0	0	0	0	0	0	1
43	特発性慢性肺血栓栓症（肺高血圧型）	(1) 4	(1) 1	0	0	1	0	0	0	2
44	ライソゾーム病（ファブリ病含む）	8	0	1	0	0	0	0	0	7
45	副腎白質ジストロフィー	1	0	0	0	0	0	0	0	1
46	家族性高コレステロール血症	0	0	0	0	0	0	0	0	0
47	脊椎性筋萎縮症	0	0	0	0	0	0	0	0	0
48	球脊髄性筋萎縮症	(1) 1	0	0	0	(1) 1	0	0	0	0

特定疾患医療受給者数

平成22年3月31日現在

疾患別	市町	総数	内 訳							
			桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町	菰野町	朝日町	川越町	四日市市
49 慢性炎症性脱髄性多発神経炎		(16) 16	(4) 4	0	0	0	(1) 1	0	0	(11) 11
50 肥大性心筋症		(2) 2	0	0	0	0	0	0	0	(2) 2
51 拘束型心筋症		0	0	0	0	0	0	0	0	0
52 ミトコンドリア症		(4) 4	0	(1) 1	0	(1) 1	(1) 1	0	0	(1) 1
53 リンパ脈管筋腫症		(1) 1	0	0	0	0	0	0	0	(1) 1
54 重症多形滲出症紅班		0	0	0	0	0	0	0	0	0
55 黄色靱帯骨化症		(2) 2	0	(1) 1	0	0	0	0	0	(1) 1
56 間脳下垂体機能障害		(30) 30	(9) 9	(5) 5	0	0	(3) 3	(1) 1	0	(12) 12

〔 () 内の数字は年度内新規申請者数 〕

5 肝炎インターフェロン治療促進事業

B型、C型肝炎ウィルスの除去を目的として行うインターフェロン治療にあたり、自己負担を軽減し、治療の促進を図ることを目的として医療給付を行っている。

疾病名	申請 件数	給付 件数
慢性肝炎 (B型肝炎ウイルスによる)	5	5
慢性肝炎 (C型肝炎ウイルスによる)	161	159
代償性肝硬変 (C型肝炎ウイルスによる)	3	3
計	169	167

34107 医療分野の人材確保

(主担当:保健衛生室 総務企画課)

主な取組内容

1. 保健師は、管内市、産業保健保健師等関係者と連携をとりながら、地域住民の心身の健康保持、増進、健康の回復、疾病予防を目的とし、家庭訪問、健康相談、集団検診、健康教育等を実施しています。
2. 看護業務・医療業務・栄養業務等に従事しようとする学生に対して保健福祉事務所(保健所)実習指導を実施します。
3. 平成16年度から実施された新医師臨床研修制度に基づき、研修2年目の医師に対して地域保健分野として保健福祉事務所(保健所)研修を実施します。

1. 保健師活動状況

(1) 保健師配置状況

平成22年4月1日現在

	管内合計	保健福祉事務所	桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町	菰野町	朝日町	川越町
H18	67	7	18	13	6	5	10	3	5
H19	67	8	18	13	6	5	9	3	5
H20	69	9	19	14	6	4	9	3	5
H21	70	9	21	14	5	5	9	3	4
H22	73	9	23	14	4	6	9	3	5

2. 看護学生等保健所実習指導

平成21年度

	所属名	実習期間(日)	人員(名)
看護学生	三重県立看護大学看護学部看護学科	8	3
	三重大学医学部看護学科	9	6
管理栄養士	名古屋学芸大学	5	2
	名古屋経済大学	5	3
	椋山女学園大学	5	2
	中京女子大学	5	1
	鈴鹿医療科学大学	5	4

3. 新医師臨床研修受入状況

平成16年度から診療に従事しようとする医師は、医師免許取得後、2年間の臨床研修受講を義務づけられています。(医師法第16条の2)

この制度においては、「特定の医療現場の経験」として、研修2年目に1ヶ月間の「地域保健・医療」が必修科目に指定されており、保健所等がその対象機関とされています。

平成21年度

所属病院名	研修医数	受入標準期間	延べ受入日数	備考
いなべ総合病院	3	2週間	20日間	
桑名市民病院	3	2週間	20日間	
山本総合病院	6	2週間	20日間	

342 生活保障の確保

34201 公的扶助の適正な運用

(主担当: 福祉相談室 生活保護課)

主な取組内容

- 生活困窮者に対し、「生活保護法」に基づく生活保障を行うとともに、その自立を助長するため、それぞれの世帯の実情に応じた指導、助言を行います。

1 生活保護

(1) 保護の状況

平成21年3月31日現在、管内の被保護者世帯数は232世帯、被保護人員は285人である。保護率は3.0%であり、県平均保護率の7.5%を大きく下回っている。管内では、川越町の7.0%を最高に朝日町1.5%が最低となっている。

平成22年3月31日現在

市 町 名	保 護 人 員 (人)	保 護 世 帯 数 (世帯)	保 護 率 (%)
合 計	375	291	4.0
木 曽 岬 町	19	13	2.8
東 員 町	49	43	1.9
菰 野 町	158	125	4.0
朝 日 町	24	18	2.7
川 越 町	125	92	9.2

(2) 世帯類型別保護世帯数

平成22年3月31日現在

区 分	郡 部	
	世 帯 数 (世帯)	構 成 比 (%)
計	291	100.0
高齢者世帯	127	43.6
母子世帯	14	4.8
傷病者・障害者世帯	102	35.1
その他世帯	48	16.5

(3) 保護開始・廃止の原因別状況(平成21年度)

区 分	郡 部		
	世 帯 数 (世帯)	構 成 比 (%)	
開始	総数	104	100.0
	傷 病	38	36.5
	稼働収入・手持金等の喪失減少	55	52.9
	その他	11	10.6
廃止	総数	49	100.0
	死亡・転出・施設入所等	26	53.1
	就労開始・年金受給等	17	34.7
	傷病治癒	1	2.0
	その他	5	10.2

343 高齢者保健福祉の推進

34301 介護保険制度の円滑な運営

(主担当:福祉相談室 福祉課)

主な取組内容

1. 保険者への指導及び支援、サービス事業者等への指導及び支援、認定審査会委員現任研修の実施、介護保険審査会(要介護認定に係る不服申し立て)の設置を行います。

1 介護保険制度

介護が必要な高齢者を社会的に支援するための介護保険制度を円滑に実施するため、介護保険制度の適正執行への支援を行った。

(1) 要支援・要介護認定状況

(平成22年4月1日現在)

保険者	計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
管内計	19,391	2,675	2,880	3,329	3,149	2,752	2,471	2,135
桑名市	4,658	608	585	738	933	695	573	526
いなべ市	1,561	142	205	296	233	228	235	222
木曽岬町	152	16	29	16	15	26	33	17
東員町	694	31	79	138	145	113	100	88
菰野町	1,295	131	162	176	212	257	196	161
朝日町	251	57	49	45	30	24	25	21
川越町	404	36	53	59	95	54	55	52
四日市市	10,376	1,654	1,718	1,861	1,486	1,355	1,254	1,048
三重県計	78,439	8,520	10,703	14,335	14,131	12,070	10,309	8,371

(注) 三重県の数値については、平成22年1月31日現在

(2) 介護保険認定審査会委員現任研修

日時	場所	内容	参加者数
平成22年2月28日 13:30～16:30	四日市市総合会館	講義 「高次脳機能障害～支援の実態～」	41名

(3) サービス事業者指定事務

各サービス事業者の申請の受付事務(記入漏れ、添付書類漏れ等の確認)を実施。

(4) 介護支援専門員実務研修受講試験関係事務

試験関係案内配布:平成21年6月10日から7月15日まで

(5) 介護保険審査会の開催状況

要介護認定に関する不服申し立てに対し、審査判定をする介護保険審査会を設置。

裁決件数 0件 (平成21年度)

区分	審査請求 件数	取り下げ 件数	裁決結果			
			審理中	却下	認容	棄却
桑名保健福祉事務所 (桑名地域)	0	0	0	0	0	0
桑名保健福祉事務所 (三泗地域)	0	0	0	0	0	0
三重県	1	1	0	0	0	0

34302 介護基盤の整備促進とサービスの質の向上

(主担当: 福祉相談室 福祉課)

主な取組内容

1. 「三重県高齢者保健福祉計画」に基づき、年度別に地域の実情を勘案し、介護保険施設や介護老人福祉施設等の施設整備を的確に行っていきます。

1 高齢者福祉

(1) 在宅高齢者の状況

平成22年4月1日現在

市町名	65才以上人口 (人)	65才以上人口比 (%)	一人暮らし老人 (65才以上) (人)
計	125,115	20.9	11,764
桑名市	29,549	20.8	2,985
いなべ市	10,309	22.8	1,343
木曽岬町	1,478	21.4	121
東員町	4,982	19.3	307
菰野町	8,726	21.3	1,107
朝日町	1,719	18.0	140
川越町	2,435	17.4	321
四日市市	65,917	21.0	5,440

(2) 高齢者保健福祉施設及び介護サービス事業所数

平成22年4月1日現在

サービス種別 市町名	入 所 施 設											
	養護老人ホーム		特別養護老人ホーム		軽費老人ホーム		ケアハウス		介護老人保健施設		介護療養型医療施設	
	カ所	床	カ所	床	カ所	床	カ所	床	カ所	床	カ所	床
計	4	290	23	1,523	2	100	7	350	18	1,591	10	323
桑名市	1	50	4	245	0	0	0	0	6	487	4	131
いなべ市	1	70	2	100	0	0	0	0	1	100	0	0
木曽岬町	0	0	1	50	0	0	0	0	1	60	0	0
東員町	0	0	1	50	0	0	1	50	0	0	0	0
菰野町	1	50	2	140	0	0	1	50	3	350	1	8
朝日町	0	0	1	50	0	0	0	0	0	0	0	0
川越町	0	0	0	0	0	0	1	30	1	80	0	0
四日市市	1	120	12	888	2	100	4	220	6	514	5	184

サービス種別 市町	居宅介護サービス事業所									
	訪問介護	訪問入浴	訪問看護ステーション	訪問リハビリ	通所介護	通所リハビリ	短期入所生活介護	特定施設入所者生活介護	福祉用具貸与	居宅介護支援
計	87	11	38	10	163	30	30	6	26	122
桑名市	19	1	5	0	53	4	4	2	7	34
いなべ市	4	1	3	0	20	1	2	1	3	6
木曽岬町	1	0	1	0	3	1	1	0	0	2
東員町	5	0	9	6	11	0	2	0	0	8
菰野町	2	1	2	0	6	5	5	1	1	6
朝日町	1	0	0	0	2	0	1	1	1	1
川越町	3	1	4	4	2	1	1	0	1	1
四日市市	52	7	14	0	66	18	14	1	13	64

サービス種別 市町	地域密着型サービス		
	認知症対応型通所介護	特別養護老人ホーム	グループホーム
計	26	5	32
桑名市	6	1	12
いなべ市	2	0	3
木曽岬町	0	0	0
東員町	2	0	2
菰野町	0	0	3
朝日町	0	0	1
川越町	0	0	3
四日市市	16	4	8

344 障がい者保健福祉の推進

34401 障害者自立支援法制度の円滑な推進

(主担当: 福祉相談室 福祉課)

主な取組内容

- 障がいのある人の社会復帰に向け、障がいを軽減するための医療を提供するとともに、機能障がいを補う補装具などの交付を行う市町を支援します。

1. 障がい者福祉

(1) 身体障害者手帳所持者の障がい別状況

3市5町における身体障害者手帳の所持者(児)数は19,351人であり、これを障がい別に見ると、視覚障がい6.1%、聴覚障がい9.5%、音声言語障がい1.1%、肢体不自由が53.5%、内部障がい29.8%となっている。

平成22年4月1日現在(単位:人)

障害区分 市町名	視覚	聴覚・平 衡	音声・言 語そしゃ く	肢体不自由	内部障がい	計	うち児 童
前年度	1,206	1,819	208	10,128	5,577	18,938	458
桑名市	268	368	41	2,253	1,348	4,278	89
いなべ市	85	167	27	972	439	1,690	32
木曽岬町	11	7	5	98	64	185	0
東員町	52	70	11	437	247	817	13
菰野町	79	123	10	828	382	1,422	31
朝日町	11	19	0	104	67	201	3
川越町	22	31	2	227	120	402	7
四日市市	662	1,051	117	5,427	3,099	10,356	256
管内計	1,190	1,836	213	10,346	5,766	19,351	431
構成比	6.1%	9.5%	1.1%	53.5%	29.8%	100.0%	

(2) 療育手帳所持者の状況

3市5町における療育手帳の所持者(児)数は3,284人であり、対前年比では4.6%の増加となっている。

等級別内訳では、A(最重度・重度)、B(中度・軽度)とも4.6%の増となっている。

平成22年4月1日現在(単位:人)

区 分 市町名	計 ()内は、児の内数	等級A	等級B
前年度	3,140 (928)	1,472 (338)	1,668 (590)
桑名市	751 (236)	345 (82)	406 (154)
いなべ市	249 (66)	133 (27)	116 (39)
木曽岬町	33 (8)	16 (2)	17 (6)
東員町	113 (27)	67 (11)	46 (16)
菰野町	256 (65)	133 (19)	123 (46)
朝日町	37 (17)	18 (4)	19 (13)
川越町	70 (21)	35 (12)	35 (9)
四日市市	1,775 (522)	793 (194)	982 (328)
管内計	3,284 (962)	1,540 (351)	1,744 (611)
構成比	100.0%	46.9%	53.1%

2 障がい福祉サービス事業所

平成22年4月1日現在（単位：人）

施設の種類	指定事業所名	市町名	定員
指定生活介護事業所	清和デイサービスセンター	四日市市	10
	小山田苑 生活介護	四日市市	10
	障害者自立支援施設たんぼぼ	四日市市	35
	サクラノ園	四日市市	35
	コミュニティハウス・オレゴン	四日市市	24
	あおぞらワーク	四日市市	12
	ゆったりクラブ	四日市市	6
	サポートセンターあいぷる	四日市市	10
	オンリーワン	四日市市	10
	わかたけ萩の里	四日市市	40
	ランチ スプリング	四日市市	10
	メダカ出版所	四日市市	10
	桑名市障害福祉サービス桑名福祉センター	桑名市	15
	桑名市障害福祉サービス多度すこやかセンター	桑名市	6
	生活サポートセンターつどい	桑名市	20
	生活介護事業所 あじさいの家	いなべ市	20
	いなべ市障害者活動支援センター	いなべ市	30
	生活介護ステーションTOINあーち	東員町	20
	ワークセンターひのき	菟野町	30
	イーエスクレヨン	菟野町	20
よつばの里	川越町	20	
指定施設入所支援事業所	障害者支援施設 エピノ園	四日市市	77
	指定障害者支援施設 聖母の家	四日市市	80
	あさけ学園	菟野町	40
	障害者支援施設 菟野聖十字の家	菟野町	60
指定自立訓練（生活訓練）事業所	かすみヶ浦ブルーミングハウス	四日市市	20
指定就労移行支援事業所	手作り工房あゆみ	四日市市	6
	みどりの家 日永	四日市市	6
	みどりの家 河原田リサイクルセンター	四日市市	18
	かすみヶ浦ブルーミングハウス	四日市市	20
	みのり工房	四日市市	10
	オンリーワン	四日市市	6
	就労移行・継続B型来未 - KURUMI -	桑名市	6
指定就労継続支援（A型）事業所	ランチ スプリング	四日市市	10
	ユーユーハウス株式会社	四日市市	20
指定就労継続支援（B型）事業所	手作り工房あゆみ	四日市市	25
	みのり工房	四日市市	30
	あおぞらワーク	四日市市	22
	みどりの家 日永	四日市市	10
	おのえ作業所	四日市市	20
	日永福祉作業所	四日市市	15
	作業所来夢	四日市市	20
	サポートセンターあいぷる	四日市市	10
	オンリーワン	四日市市	10
	ランチ スプリング	四日市市	20
	就労移行・継続B型来未 - KURUMI -	桑名市	14
	夢工房	桑名市	15
	みのり作業所	桑名市	20
	デリカ工房「くわのみ」	桑名市	14
	千姫	桑名市	15
	ワークショップみらい	桑名市	14
	いなべ市障害者活動支援センター	いなべ市	10
	木曾岬町さくら作業所	木曾岬町	10
ワークセンターひのき	菟野町	10	
菟野町わかば作業所	菟野町	30	

平成22年4月1日現在（単位：人）

施設の種別	指定事業所名	市町名	定員
指定相談支援	障害者相談支援センター ソシオ	四日市市	-
	HANA	四日市市	-
	相談支援事業所「ブルーム」	四日市市	-
	相談支援事業所 陽だまり	四日市市	-
	いなべ市社協相談支援事業所	いなべ市	-
	相談支援事業アジサイ	いなべ市	-
グループホーム ・ケアホーム	障害福祉サービス事業所「ブルーミング」	四日市市	23
	社会福祉法人聖母の家	四日市市	21
	わかたけホーム	四日市市	12
	コミュニティセクション共同生活住居	四日市市	32
	CH・GH 四季の里	四日市市	69
	しらとりホーム	四日市市	8
	富田ハウス	四日市市	4
	清和ホーム	四日市市	7
	グループホームあやめ	桑名市	29
	ケアホーム つばさ	桑名市	8
	てまり花	いなべ市	20
	なでしこ1	いなべ市	6
	なでしこ2	いなべ市	10
	一体型指定共同介護等事業所 高柳ホーム	いなべ市	4
	ゆきわり草第1	東員町	4
	ゆきわり草第2	東員町	4
	つくしの家	東員町	4
	つくしの家第2	東員町	7
	あさけホーム	菟野町	21
障がい者小規模作業所	みはま作業所	四日市市	20
	わかば共同作業所	四日市市	20
	菟野フェアワークス	菟野町	9
	朝日町ひまわり作業所	朝日町	9
	川越町くろがね作業所	川越町	15
旧身体障害者入所療護施設	小山田苑	四日市市	80
旧身体障害者通所授産施設	あさけワークス	四日市市	20
旧知的障害者入所更生施設	清和苑	四日市市	40
	垂坂山ブルーミングハウス	四日市市	40
旧知的障害者通所授産施設	くわのみ	桑名市	40
	通勤寮ブルーミング	四日市市	20
旧知的障害者通所授産施設	共栄作業所	四日市市	37
	らふかっと	四日市市	20
	清和ワークキャンパス	四日市市	30
	広陽園	桑名市	30
	ワークセンターのぞみ	桑名市	35
	夢の風	桑名市	20
	たんぼぼ作業所	いなべ市	20
	たんぼぼ作業所分場藤原作業所	いなべ市	15
	たんぼぼ作業所分場コスモス作業所	いなべ市	9
	東員いずみ作業所	東員町	20
グリーンランド	菟野町	34	
旧知的障害者小規模通所授産施設	バオバブの樹	桑名市	12
旧精神障害者生活訓練施設	スマイルハウス	四日市市	20
	あじさい	いなべ市	20
旧精神障害者福祉ホームB型	福祉ホームB型TOUIN	東員町	20
旧精神障害者通所授産施設	フェア・ワークス下野	四日市市	20

34402 障がい者福祉サービス提供基盤の整備促進

(主担当:福祉相談室 福祉課)

主な取組内容

1. 障がいのある人が地域で活動する場を確保するため、通所施設および市町が行う日中活動支援事業、小規模作業所事業等への支援を行います。

1. 障がい者小規模作業所事業費補助金

就業又は一般企業に雇用されることが困難な障がい者及び社会参加の機会が必要な在宅の障がい者に対し、集団による作業活動・訓練、創作活動、生活交流の場を提供するとともに、生活指導、作業指導等必要な指導支援を行い、障がい者の社会参加の促進及び社会的自立と福祉の向上を図る小規模作業所に対し、経費を支弁する市町に補助を行った。

(1) 障がい者小規模作業所事業費補助金

年度	補助作業所数	金額
平成20年度	23箇所 (内訳) 桑名市 8箇所 木曾岬町 1箇所 四日市市 10箇所 菰野町 2箇所 朝日町 1箇所 川越町 1箇所	61,941千円
平成21年度	9箇所 (内訳) 桑名市 1箇所 木曾岬町 1箇所 四日市市 4箇所 菰野町 1箇所 朝日町 1箇所 川越町 1箇所	23,298千円

34404 精神障がい者の適正な保健医療の確保

(主担当: 保健衛生室 地域保健課)

主な取組内容

1. 休日及び夜間における精神疾患の急性発症等に対応するため、精神科病院の輪番制による精神科救急医療体制を確保します。

1. 精神保健医療対策事業

(1) 通院医療費公費負担事務

(審査月別申請件数)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成18年度	476	58	80	54	39	25	34	34	31	19	28	58	16
平成19年度	2,112	191	105	195	153	207	169	143	176	158	187	184	244
平成20年度	7,136	744	357	829	516	588	493	503	680	497	508	690	731
平成21年度	7,946 (902)	763	630	585	543	717	546	637	610	557	681 (74)	718 (270)	959 (558)

H21年度から診断書が2年に1回の添付となったため、保健所承認件数含む(再掲)

(年度末人員数)

市町名	合計	桑名市	木曾 岬町	いな べ市	東員 町	菰野 町	朝日 町	川越 町	四日市市
平成18年度	2,112	1,435	66	402	209				
平成19年度	2,087	1,438	59	392	198				
平成20年度	6,834	1,523	62	397	205	441	103	161	3,942
平成21年度	7,317	1,639	68	437	225	498	127	164	4,159

(2) 精神保健措置事業

区分 年度	申請・通報件数					指定医診察結果		保護申請に基づく調査により		
	計	法23 条	24条	法26 条の2	法27 条の2	法29条該当	29条非該当	他の福 祉施設	指定医 診察不 要	その他
平成18年度	3	1	2	-	-	1	2	-	-	-
平成19年度	9	-	7	1	1	7	1	-	1	-
平成20年度	17	-	16	-	1	10	5	-	2	-
平成21年度	10	-	10	-	-	5	4	-	1	-

(3) 疾患別措置入院者の状況

(平成22年3月31日現在)

性別	疾患別	総数	統合 失調 症	そう づ病	心因 反応	非精 定神 型病	てん かん	知的 障害	神経 衰弱	アル コール 性精神 病	その他
	総計	計	3	2							
男		2	2								
女		1									1

34405 障がい者の社会参加環境づくり

(主担当: 保健衛生室 地域保健課)

主な取組内容

1. 精神障がい者の社会復帰の促進と自立、社会参加を目的に精神保健福祉相談及び訪問指導等を実施しています。
2. 精神障がい者の家族が、疾患についての知識や理解を深めるとともに、お互いの交流を図り日頃の悩みを話し合いながら支え合う体制づくりのため、家族会の活性化及び機能強化を図ります。

1. 精神障がい者地域生活支援事業

(1) 精神障害者保健福祉手帳交付事業

		年度末人員	級 別 内 訳		
			1 級	2 級	3 級
平成19年度		846	175	572	99
平成20年度		2,236	366	1,468	402
平成21年度		2,417	400	1,555	462
年度内 内 訳	桑名市	810	187	529	94
	いなべ市	147	26	97	24
	木曽岬町	19	0	16	3
	東員町	65	20	35	10
	菰野町	131	18	81	32
	朝日町	24	1	17	6
	川越町	47	2	33	12
	四日市市	1,174	146	747	281

(2) 精神障がい者保健福祉相談指導事業

在宅の精神障がい者及びその家族に対し、社会復帰の促進や自立と社会参加の促進のための相談を行った。また、月1回は、専門医による精神保健福祉相談を行った。

区分	面接件数		訪問件数		電話等件数
	実人員	延人員	実人員	延人員	延件数
平成19年度	110	162	47	56	322
平成20年度	152	168	15	46	840
平成21年度	76	120	15	77	484

2 精神障がい者社会復帰推進事業

(1) 地域支援ネットワークづくり

ア精神保健福祉ボランティア養成講座実施への支援

- ・平成22年度に桑名市社会福祉協議会を中心とした実行委員会を主体とし、精神保健福祉ボランティア養成講座を実施することになった。今年度は関係者が集まり開催に向けての話し合いを行った。実施回数：3回

イ地域家族支援

- ・平成22年度に地域家族会が主体となり、映画上映「ふるさとをください」を実施することになった。今年度は関係者が集まり開催に向けての話し合いを行った。実施回数：3回

ウ桑名市精神保健福祉業務連絡会運営の支援

- ・実施主体は桑名市。障がい者総合支援センター、作業所、行政間で情報交換や活動状況を理解し合う機会としている。参加回数：10回

エ桑名市地域生活移行促進部会（NEX）運営の支援

- ・実施主体は障がい者総合支援センター「そういん」。精神障がい者の地域移行の促進と地域支援ネットワークの構築を目指す。参加回数：5回

オ三泗地域精神保健福祉連絡会

- ・日程：平成22年3月18日
- ・危機介入にあたり、関係者が適切な対応ができることを目的としている。四日市市保健所主催。

カ精神保健福祉研修会の実施

- ・日程：平成21年12月14日
- ・講演「依存症についての理解を深める」
講師：特定非営利法人 三重ダルク 常務理事 市川岳仁氏
参加者：16人

(2) 精神障がい者通院患者リハビリテーション事業

精神障がい者を一定期間事業所に通わせ、集中力、対人能力、仕事に対する持久力、環境適応能力等の涵養を図るための社会適応訓練を行い再発防止と社会的自立を促進し、もって精神障がい者の社会復帰を図った。

年 度	協力事業所（訓練人数）
平成19年度	はあぶ工房 (1人)
	(有)加藤商店 (1人)
	(有)丹羽産業 (2人)
	(有)ベルグリーン (1人)
平成20年度	はあぶ工房 (1人)
	(有)丹羽産業 (2人)
	(有) だいち (1人)
	(有) ベルグリーン (1人)
平成21年度	はあぶ工房 (1人)
	(有)丹羽産業 (1人)
	(有) ベルグリーン (1人)

桑名保健福祉事務所（保健所）の沿革

明治30年(1897年)	伝染病予防法施行
昭和12年(1937年)	保健所法公布
昭和19年(1944年)10月	三重県桑名保健所発足(職員10人) 前身は桑名簡易保険健康相談所(桑名市上野18)
昭和22年(1947年)7月	戦災後桑名郵便局の一室を仮事務所として業務執行(職員16人)
昭和22年(1947年)	新保健所法 、食品衛生法、児童福祉法制定（施行は、3法とも昭和23年1月）
昭和23年(1948年)	児童福祉法、予防接種法、性病予防法施行
昭和23年(1948年)11月	課制(機構)執行(職員27名)
昭和24年(1949年)4月	新庁舎完成移転(桑名市常磐町、敷地215坪、建坪114坪)
昭和24年(1949年)	身体障害者福祉法制定
昭和25年(1950年)	精神衛生法、狂犬病予防法、生活保護法制定
昭和26年(1951年)	結核予防法、社会福祉事業法（平成12年6月「社会福祉法」に改称）制定
昭和27年(1952年)	栄養改善法制定
昭和27年(1952年)9月	係長制度施行される。
昭和31年(1956年)8月	薬剤師法、薬事法制定
昭和35年(1960年)	精神薄弱者福祉法制定
昭和35年(1960年)8月	次長制度施行される。
昭和38年(1963年)	老人福祉法制定
昭和39年(1964年)	母子福祉法制定（昭和56年「母子及び寡婦福祉法」に改称）
昭和40年(1965年)	母子保健法制定
昭和45年(1970年)	心身障害者対策法制定
昭和48年(1973年)5月	新庁舎完成移転(桑名市中央町五丁目71番地)
昭和48年(1973年)9月	動物の保護及び管理に関する法律制定（施行は、昭和49年1月）
昭和51年(1976年)4月	機構改革により環境課新設、衛生課を衛生指導課に改称
昭和53年(1978年)4月	機構改革により総務課に検査係新設、普及係を医事統計係に改称
昭和54年(1979年)10月	薬事法改正
昭和61年(1986年)4月	機構改革により総務課医事統計係を廃止、総務係に吸収
昭和62年(1987年)	精神衛生法改正（「精神保健法」に改称）
平成元年(1989年)	後天性免疫不全症候群の予防に関する法律施行

平成5年(1993年)4月	機構改革により総務課 検査係を廃止 、保健婦室を保健指導課に改称、 保健予防課保健係、予防係を保健予防係に統一
平成5年(1993年)12月	心身障害者対策法改正(「障害者基本法」に改称)
平成6年(1994年)6月	地域保健法制定(保健所機能の強化)、関係法律整備 (保健所法、母子保健法、児童福祉法、栄養改善法、医療法、薬事法、伝染病予防法、食品衛生法等)
平成7年(1995年)7月	精神保健法改正(精神障害者保健福祉手帳制度の創設、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」に改称)
平成8年(1996年)4月	らい予防法廃止、6月 薬事法改正
平成9年(1997年)4月	地域保健法全面施行
平成9年(1997年)4月	機構改革により企画調整課新設、保健予防課、保健指導課を地域保健課に統一
平成9年(1997年)12月	介護保険法制定(平成12年4月施行)
平成10年(1998年)4月	機構改革により 旧桑名保健所と旧北勢福祉事務所の一部を統合し、児童相談機能を含めて「北勢県民局桑名保健福祉部」として発足(桑名保健所は併置機関として存続) 。 組織体制は、部長(福祉監兼)、保健監(保健所長兼)、副部長のもと、企画総務、健康増進、福祉保健、衛生指導のグループを設置。各グループにグループリーダーを置く。環境課業務を移管する。
平成11年(1999年)4月	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)施行(伝染病予防法、性病予防法、後天性免疫不全症候群の予防に関する法律廃止)、 4月 精神薄弱者福祉法改正(「知的障害者福祉法」に改称)
	12月 動物の保護及び管理に関する法律改正(「動物の愛護及び管理に関する法律」に改称、施行は平成12年12月)
平成13年(2001年)3月	地域健康危機管理ガイドライン策定(厚生労働省)
平成14年(2002年)4月	チーム、グループ制の導入により、桑名保健福祉部に福祉相談チーム(経営支援、生活支援、子育て支援の各グループ)、保健衛生チーム(計画調整、健康増進、衛生指導の各グループ)を設置し、部長、チームマネージャー、グループチームマネージャー、グループリーダーを置く。 (保健衛生チームマネージャーは保健所長を兼務する)
平成14年(2002年)8月	健康増進法制定(平成15年5月施行)
平成15年(2003年)4月	経営支援グループと計画調整グループを統合して経営企画グループとし、福祉相談チーム3グループ、保健衛生チーム2グループとする。
平成15年(2003年)5月	食品安全基本法制定、食品衛生法改正(リスク分析手法の導入)
平成16年(2004年)4月	チームマネージャー等のカタカナ呼称や組織名称等の改正があり、桑名保健福祉部に福祉相談室(経営企画、生活支援、子育て支援の各グループ)、保健衛生室(健康増進、衛生指導の各グループ)を設置し、部長、室長、グループリーダーを置く。 (保健衛生室長は、保健所長を兼務する。)
平成16年(2004年)12月	発達障害者支援法制定(平成17年4月施行)
平成17年(2005年)4月	組織名称等の改正があり、桑名保健福祉部に企画福祉室(企画市町村支援、福祉の各グループ)、保健衛生室(健康増進、地域保健、衛生指導の各グループ)を設置し、部長、室長、グループリーダーを置く。 (保健衛生室長は、保健所長を兼務する。) 生活保護業務を四日市保健福祉事務所に、児童相談業務を北勢児童相談所に移管。

平成17年(2005年) 4月 薬事法改正

6月 食育基本法制定(平成17年7月15日施行)

6月 動物の愛護及び管理に関する法律改正(平成18年6月1日施行)

10月 障害者自立支援法制定(平成18年4月1日施行)

平成18年(2006年)4月 機構改革により県民局制度が廃止され、健康福祉部直轄の地域機関『桑名保健福祉事務所』となる。

保健福祉事務所-保健衛生室-企画福祉課、健康増進課、地域保健課、衛生指導課の1室4課体制で、各課に「課長」を置く。

平成18年(2006年) 6月 老人保健法改正(「高齢者の医療の確保に関する法律」に全面改正)

12月 精神保健福祉法改正(「精神病院」を「精神科病院」に改める)

12月 結核予防法の廃止、感染症法、予防接種法改正(平成19年4月1日、6月1日施行)

平成20年(2008年)4月 **四日市市が保健所政令市に移行し、四日市市保健所が設置される。**

これに伴う機構改革により、三重県四日市市保健福祉事務所は、平成20年3月31日付けで廃止。同年4月1日から、四日市市保健所に移譲されなかった四日市市にかかる保健所業務、三重郡3町にかかるすべての保健所業務が、桑名保健福祉事務所に移管される。

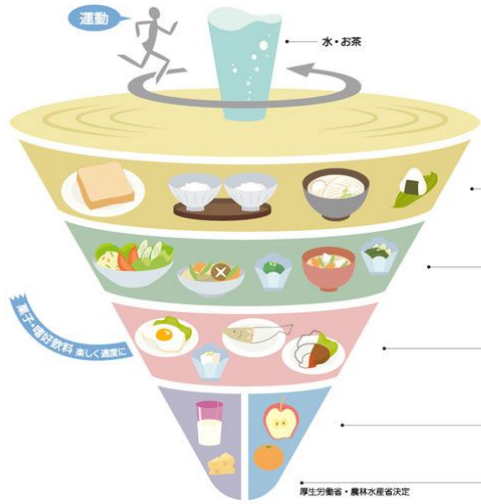
その結果、桑名保健福祉事務所の所管区域は、桑名市、いなべ市、桑名郡木曾岬町、員弁郡東員町、四日市市、三重郡菟野町、同朝日町、同川越町の3市5町となる。

「福祉相談室(北勢福祉事務所)」-福祉課、生活保護課-と、「保健衛生室(桑名保健所)」-総務企画課、健康増進課、地域保健課、衛生指導課、食の安全・安心監視課-の2室7課体制となり、福祉相談室は三重県四日市庁舎に、保健衛生室は三重県桑名庁舎に執務室を置く。

「四日市市」にかかる数値等の取り扱い

三重県行政機関設置条例(平成17年12月27日三重県条例94号)では、「四日市市」を桑名保健福祉事務所の所管区域と定めていますが、四日市市が保健所政令市に移行したことに伴い、平成20年4月1日より四日市市保健所が設置され、四日市市民の保健衛生や健康の増進に関する事項等を所管しています。

本冊子は、桑名保健福祉事務所の「福祉相談室(北勢福祉事務所)」並びに「保健衛生室(桑名保健所)」が桑名保健福祉事務所として平成21年度中に取り組んだ事業や内容等を中心に取りまとめたものであることから、「四日市市」に関する記述や数値は介護保険法、障害者自立支援法など、県の義務として、直接に関係するものにとどめてあります。



食事バランスガイド

あなたの食事は大丈夫？

1日分	料理例
5-7 主食(ごはん、パン、麺) <small>2.5gV</small> ごはん(中盛り)だったら4杯程度	1つ分 = ごはん小盛り1杯 = おにぎり1個 = 食パン1枚 = O-めん10分 1.5つ分 = ごはん中盛り1杯 = うどん1杯 = もりそば1杯 = スパゲッティ
5-6 副菜(野菜、きのこ、いも、海藻料理) <small>2.5gV</small> 野菜料理ら3皿程度	1つ分 = 野菜サラダ 赤身かつおの旨の 高たんぱく ほうれん草の 鶏ささぎ ほうろく等の 豆料理 煮干し 煮豆 煮物 2つ分 = 野菜の煮物 野菜炒め 芋の煮つけ とうもろこし
3-5 主菜(肉・魚・卵、大豆料理) <small>2.5gV</small> 肉・魚・卵・大豆料理から3皿程度	1つ分 = 焼肉 焼魚 鶏肉 鶏ささぎ 鶏皮焼酎 焼肉のたれ 2つ分 = 鶏皮焼酎 鶏のたれ 3つ分 = ハンバーグステーキ 鶏肉のしょうゆの焼き 鶏肉のから揚げ
2 牛乳・乳製品 <small>2つ分V</small> 牛乳だったら1本程度	1つ分 = 牛乳1コップ分 チーズ1かけ スライスチーズ1枚 ヨーグルト1パック 2つ分 = 牛乳2本分
2 果物 <small>2つ分V</small> みかんだったら2個程度	1つ分 = みかん1個 りんご半分 柿1個 梨半分 ぶどう半房 桃1個

*SVとはサービング(食事の提供量の単位)の略

三重県桑名保健福祉事務所

<http://www.pref.mie.jp/WHOKEN/HP/>

保健衛生室(桑名保健所)

511-8567 三重県桑名市中央町5丁目7番1地

総務企画課 0594-24-3621
 健康増進課 0594-24-3625
 地域保健課 0594-24-3620
 衛生指導課 0594-24-3623
 食の安全・安心監視課 0594-24-3619
 ファックス 0594-24-3692・3626

福祉相談室(北勢福祉事務所)

510-8511 三重県四日市市新正4丁目2番5号

福祉課 059-352-0586
 生活保護課 059-352-0235
 ファックス 059-352-0598

平成21年度桑名保健福祉事務所年報(平成22年9月発行)